

シン学校プロジェクト

一宮市立富士小学校

基本計画

2026(令和8)年2月

一宮市

－ 目次 －

1. 基本計画の策定にあたって	
1-1. 背景及び目的	1
1-2. 上位計画・関連計画の整理	2
1-3. 基本計画策定における実施体制と進行手順	3
2. 富士小学校を取り巻く状況と課題認識	
2-1. 敷地の基本条件	5
2-2. 複合化対象施設の現状と課題	11
2-3. 敷地の法的要件等	17
3. 施設整備のコンセプト	
3-1. 複合施設(全体)の整備のコンセプト	20
3-2. 小学校の整備のコンセプト	21
3-3. 公民館の整備のコンセプト	21
3-4. 児童クラブの整備のコンセプト	21
3-5. 共用スペースの整備のコンセプト	22
4. 基本計画	
4-1. 計画規模の算定	23
4-2. 諸室面積リスト(想定)	24
4-3. 施設配置の比較検討	26
4-4. 施設建替計画	27
4-5. 施設配置計画	28
4-6. ゾーニング計画	29
4-7. イメージ図	30
4-8. 構造計画	31
4-9. 環境設備計画	31
4-10. 安全対策・セキュリティ計画	31
4-11. バリアフリー・ユニバーサルデザイン	31
4-12. 概算事業費	32
4-13. 事業スケジュール	32
4-14. 設計段階における留意事項	33
参考資料	
1. ワークショップの概要	34
2. ワークショップの意見から得られた各施設のイメージ	34
3. ワークショップ報告書	35
4. ワークショップ参加者リスト	57
5. 類似施設の調査	58
6. 類似施設視察報告書	62
7. 富士小学校アンケート報告書	63

1. 基本計画の策定にあたって

1-1. 背景及び目的

一宮市(以下「市」といいます。)では、2023(令和5)年からシン学校プロジェクトを始動しました。シン学校プロジェクトは、少子化が進み児童生徒数が減少する中で、単に古くなった校舎を順番に建て替えていくのではなく、新しい時代にふさわしい学校の在り方について、市民・地域の皆さまからご意見をいただき、一緒に考えていこうというものです。2024(令和6)年4月には、シン学校プロジェクトの第1期候補校の募集を開始し、市民・地域の皆さまからのご提案を踏まえ、2024(令和6)年8月に富士小学校を第1期前期の対象校とすることを公表しました。

シン学校プロジェクトの応募書類には、富士小学校敷地における公民館、児童館、児童クラブとの複合化という提案がなされており、市では、現状把握として既存校舎の耐力度調査※を行いました。その結果、既存校舎の老朽化が確認され、市民・地域の皆さまからのご提案に基づき、複合施設への全面建て替えを検討する方針となりました。

富士小学校では、シン学校プロジェクトの基本方針の実現のため、小学校と公民館、児童クラブの機能を併せもつ複合施設として、幅広い世代が利用できる地域拠点を計画します。そのような地域拠点には、安心・安全でだれもが使いやすい多様性を包括する施設としての機能のほか、永く地域で利用し続けるため、災害時の避難所機能を併せもち、自然や周辺環境に調和したライフサイクルコストに配慮した施設が求められます。

策定にあたっては、富士連区地域づくり協議会、富士公民館、PTA、保護者会、学校運営協議会、民生児童委員、児童育成協議会、地域からの参加者の方々、富士小学校教職員などの地域の皆さまとともに、ワークショップやアンケートを複数回実施し、幅広い意見や助言を収集し、検討を重ねました。また、富士小学校の児童及び教職員を対象としたアンケートでは、現在の学校に対する印象や、新しい学校に期待する点などの意見を集めました。

こうして得られた多様な声に加え、公民館運営や教育従事者からの視点等、事業に関わる諸条件と詳細に照らし合わせ計画案の調整を行いました。

この計画案をもとに地域説明会として市民・地域の皆さまに説明し、そこで得られた様々な意見も踏まえて最終調整を行いました。

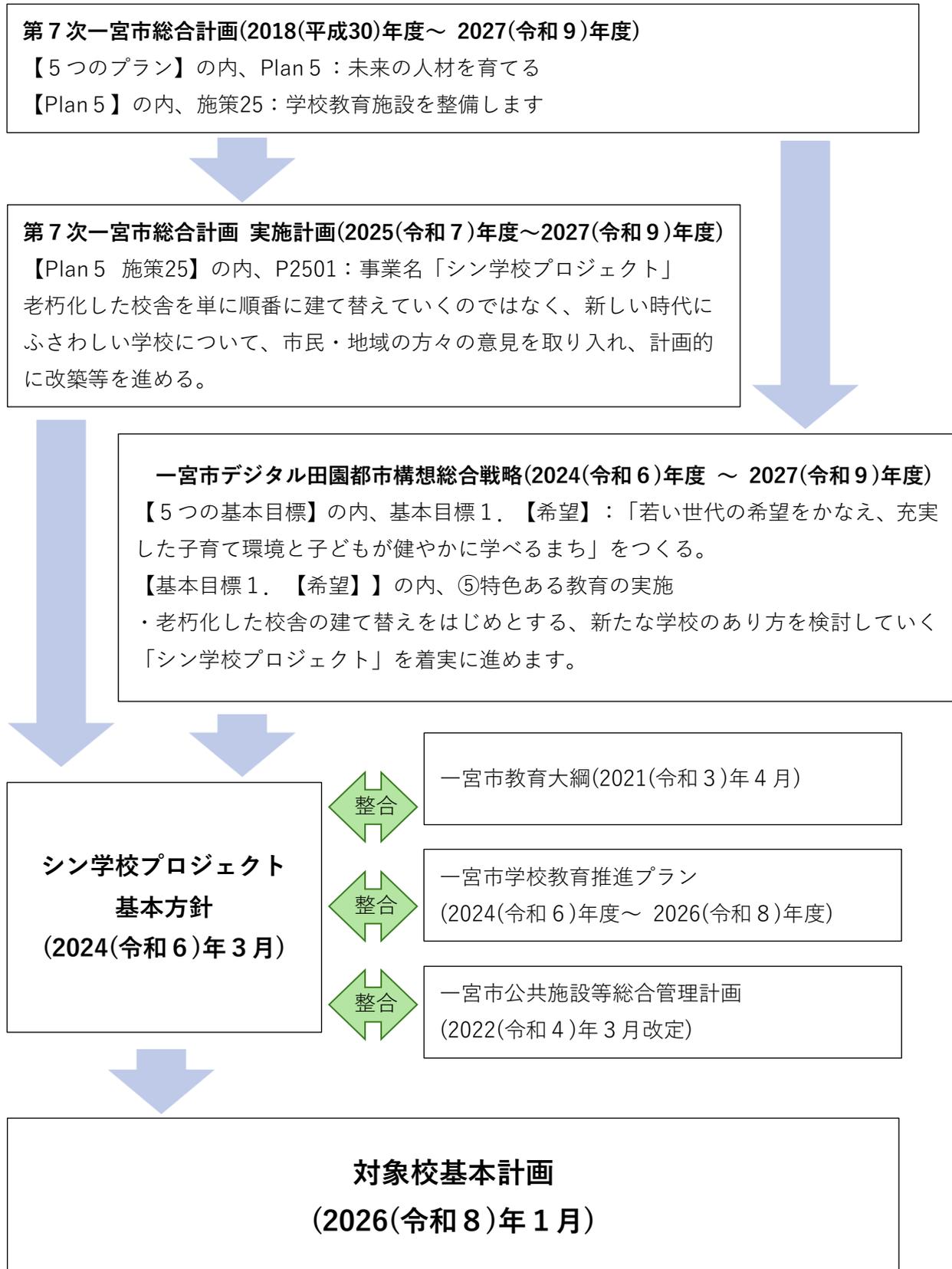
これらの調整の後、2026(令和8)年1月26日開催の定例教育委員会において「シン学校プロジェクト 一宮市立富士小学校基本計画」が承認されました。

この基本計画は、施設の規模や機能、配置等の整備に関する基本的な考え方について示すものであり、今後の基本設計・実施設計を行う際の指針となるものです。

※ 耐力度調査… 学校施設における建物の構造耐力、健全度(経年による耐力・機能の低下)、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査するもの

1-2. 上位計画・関連計画の整理

シン学校プロジェクト関係図(計画根拠・位置づけ)



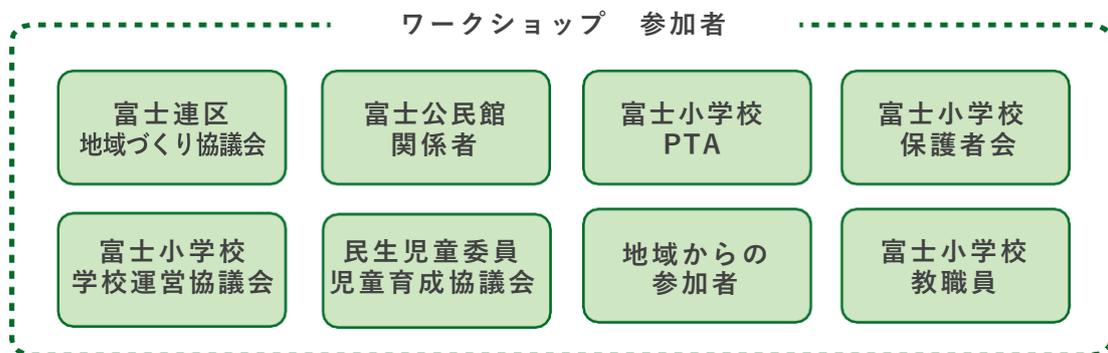
1-3. 基本計画策定における実施体制と進行手順

1) 基本計画策定に向けた実施体制

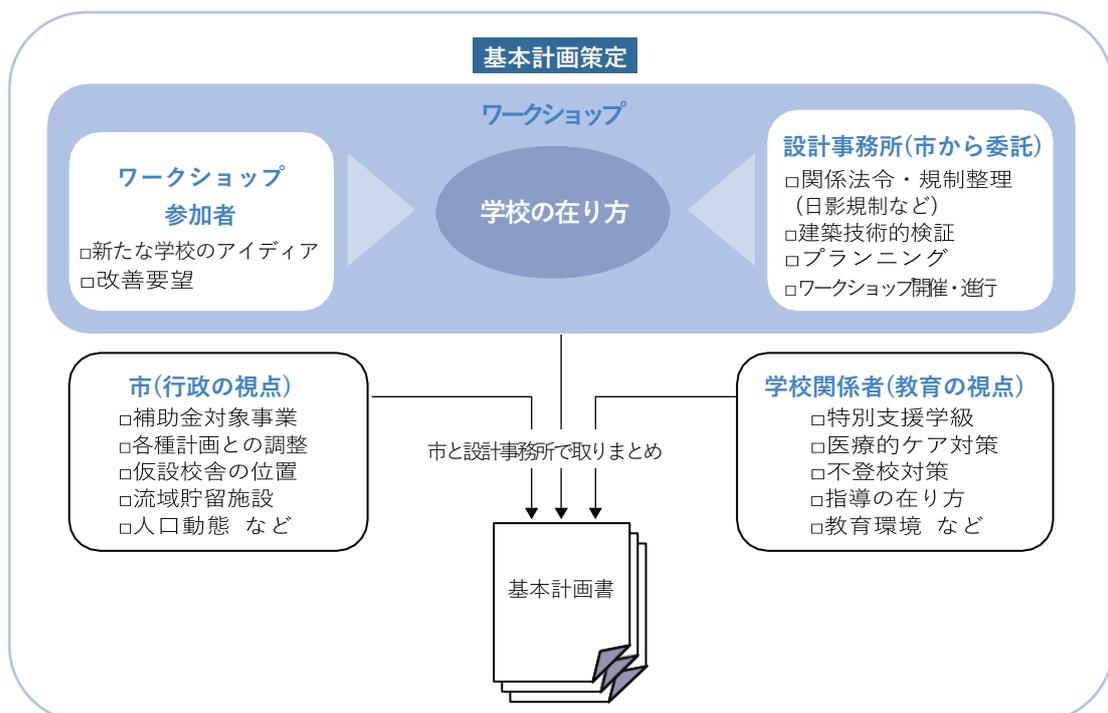
基本計画の策定にあたっては、できるだけ多くの人から意見や要望をヒアリングするため、地域の皆さまとともに、計4回にわたるワークショップを行いました。

ワークショップでは、現状の小学校や公民館の利用状況などをヒアリングしつつ、先行する類似施設の事例を紹介しながら、学校と地域住民の交流の在り方などについて議論をしました。そのほか、市から富士小学校の児童及び教職員向けのアンケート結果を参加者に紹介しました。また、ワークショップの参加者が自主的に公民館利用者向けのアンケートを行うなど、幅広い意見を集めることができました。

ワークショップやアンケートで集まった意見や要望をもとに、市民・地域の皆さまと市が協働して学校の在り方を描き、行政の視点と教育の視点を反映した基本計画にするための検討を進めていきました。



〈 基本計画策定に向けた実施体制図 〉



2) 基本計画策定の進行手順

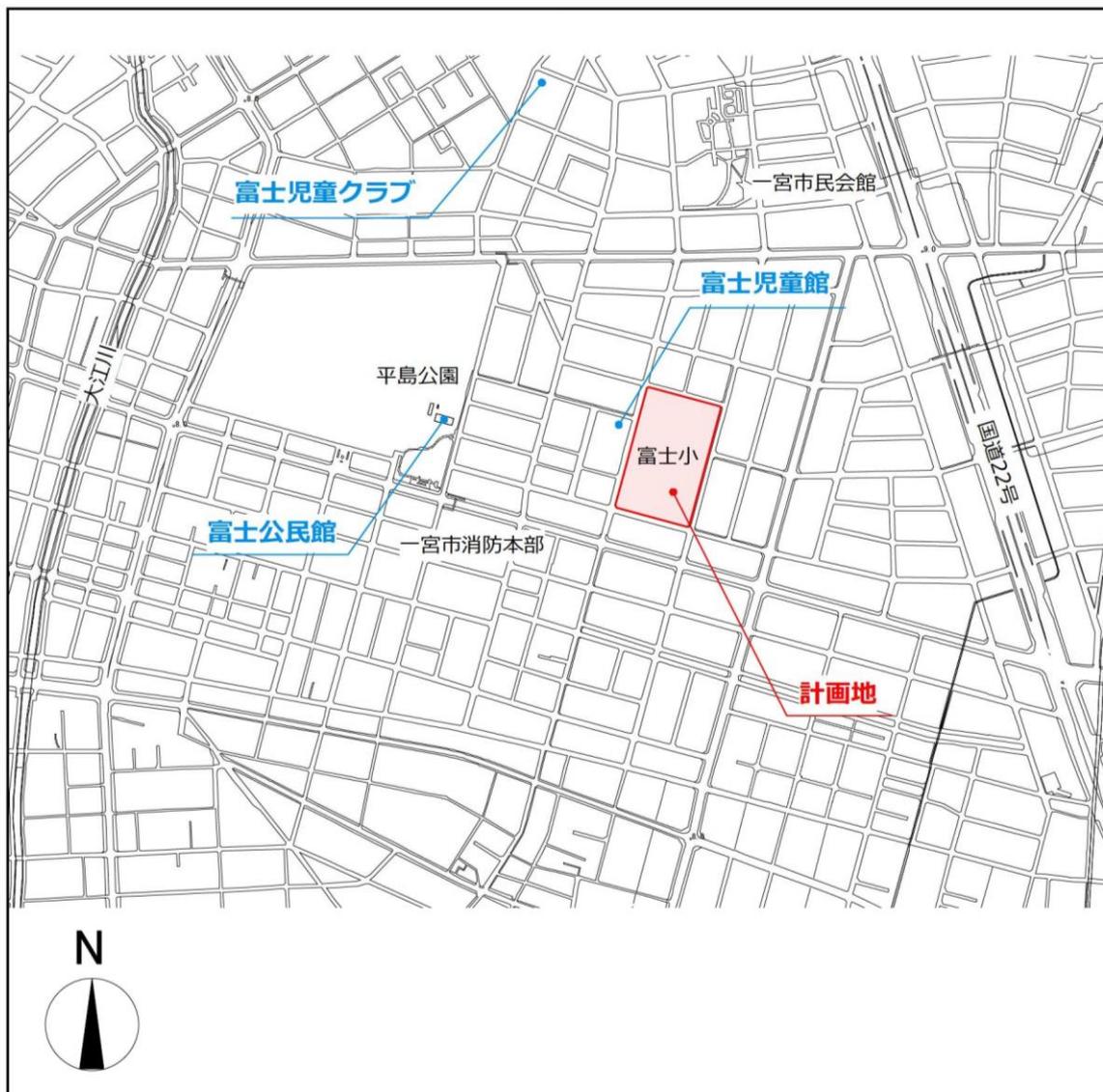
基本計画の策定にあたっては、まず敷地や既設建物の与条件などを調査・整理するとともに、先行する類似施設の調査を進めました。そこで得られた情報をもとに、ワークショップの議論のたたき台となる必要面積の算定や平面ゾーニングの仮案を作成しました。ワークショップは長期間にわたって行うのではなく、各回テーマをしぼって、短期間に集中して行うことで、参加者が毎回積みあがっていく成果を実感しながら、最後まで集中して参加してもらえるように進めました。その概要については「参考資料」に掲載しています。

2. 富士小学校を取り巻く状況と課題認識

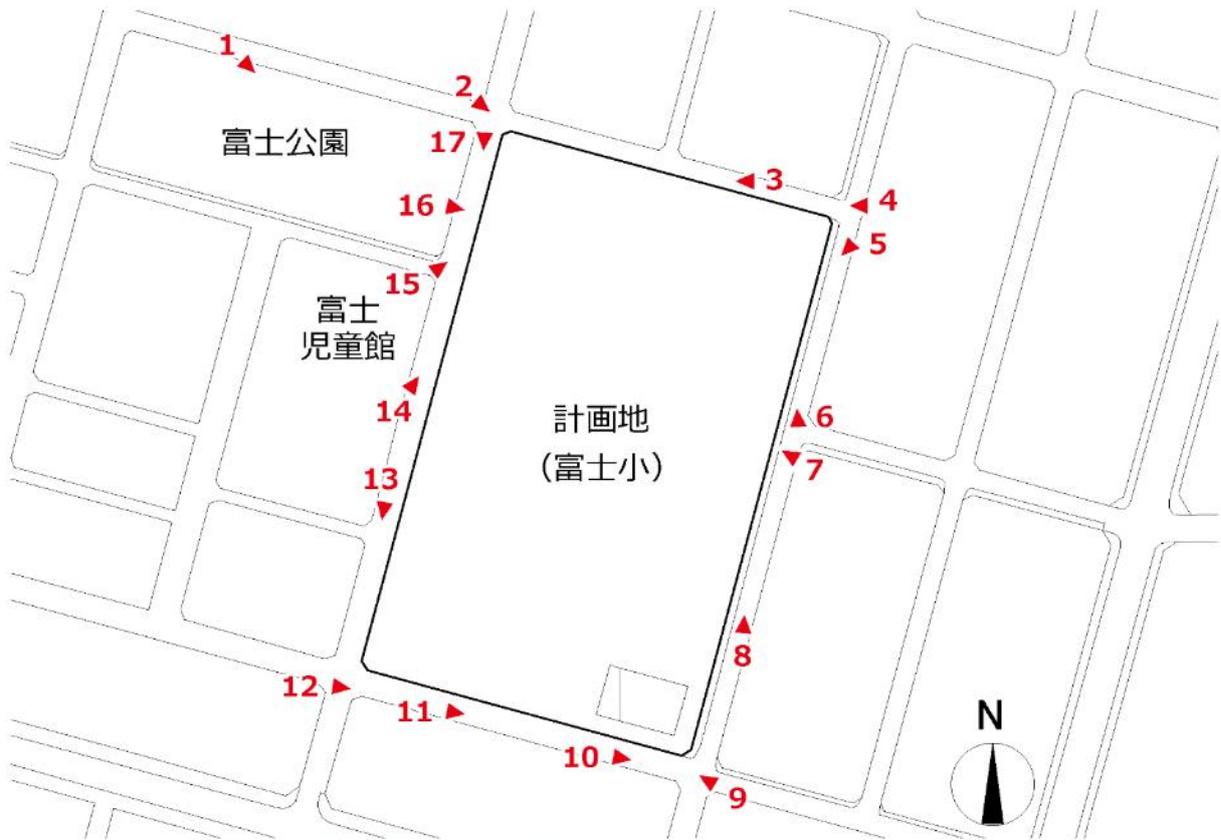
2-1. 敷地の基本条件

- ・敷地位置 : 愛知県一宮市富士2丁目5番14号
- ・敷地面積 : 17,696 m²(測量調査にて確定予定)
- ・敷地の特徴 : 計画地は一宮市の中央に位置しており、近隣には平島公園や一宮市消防本部が立地しています。

〈 敷地周辺の広域図 〉



〈 敷地周辺の現況写真 〉



※ 1～17は上の位置図の番号地点から見た写真



1：北西側道路より計画地を見る



2：北西側道路交差点より計画地を見る



3：北側道路より北門を見る



4：北東側道路交差点より計画地を見る

〈 敷地周辺の現況写真 〉



5：北東側交差点より計画地を見る



6：東側道路より計画地を見る



7：東側道路より東門を見る



8：東側道路より計画地を見る



9：南東側交差点より計画地を見る



10：南側道路より南東側交差点を見る



11：南側道路より南側通用門を見る



12：南西側交差点より計画地を見る

〈 敷地周辺の現況写真 〉



1 3 : 西側道路より計画地を見る



1 4 : 西側道路より計画地を見る



1 5 : 西側T字路より計画地を見る



1 6 : 西側正門前横断歩道より計画地を見る



1 7 : 北西側交差点より計画地を見る



富士児童館 (計画地西側)



富士公園 (計画地西側)

【洪水ハザードマップ(浸水が想定される範囲0.5～3.0m未満)】

- ・富士小学校は、浸水が想定される範囲0.5～3.0m未満の地域にあります。また、指定緊急避難場所に指定されており、周辺住民にとって重要な防災拠点です。

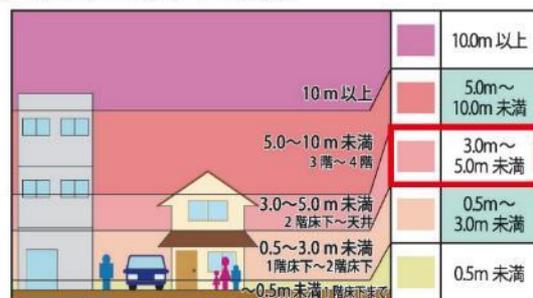
〈 一宮市地図情報サイト「138マップ」(洪水ハザードマップ) 〉



凡例

表記	名称	表記	名称
	指定緊急避難場所		鉄道 (JR)
	消防		鉄道 (私鉄)
	警察		緊急輸送道路
	病院		市域界
	水位観測所		家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流、河岸侵食)
	河川カメラ		水面
	ヘリポート		
	アンダーパス		
	市役所・出張所		

浸水の深さと状況



【液状化危険度マップ】

- ・富士小学校は液状化危険度がやや高い範囲に位置しています。

〈 一宮市「液状化危険度マップ」 〉



液状化危険度の見方	
極めて低い	極めて低い
低い	低い
やや高い	やや高い
高い	高い

※25富士小学校、62大平島公園、240富士公園、312平島公園

【高潮ハザード】

- ・富士小学校は高潮の影響を受けない範囲に位置しています。

2-2. 複合化対象施設の現状と課題

1)複合化対象施設の概要

再整備にあたり、複合化の対象となる施設は、富士小学校、富士公民館、富士児童クラブです。各既設施設の各室面積表は次頁に示します。

〈 複合化の対象施設一覧 〉

施設名称	富士小学校	富士公民館	富士児童クラブ
所在地	一宮市富士 2丁目5番14号	一宮市羽衣 2丁目5番74号	一宮市朝日 1丁目8番9号
機能	小学校	会議、活動スペース (大・小会議室、和室)	学童保育所
建築年	北舎 1958(S33)年 南舎 1961(S36)年	1979(S54)年	1988(S63)年
延床面積	5,534.00 m ²	295.11 m ²	315.00 m ²
構造※1	RC造	RC造	S造

〈 小学校校舎各棟の概要 〉

棟番号	棟名称※2	構造・階数	建築年月	床面積
①-1	南舎(西側)	RC・3階	1960(S35)年3月	1,458m ²
①-2	南舎(東側)	RC・3階	1961(S36)年9月	797m ²
②-1	北舎(西側)	RC・3階	1958(S33)年3月	1,421m ²
②-2	北舎(東側)	RC・3階	1958(S33)年8月	1,058m ²
③	渡り廊下(西側)	RC・3階	1960(S35)年11月	335m ²
④	渡り廊下(東側)	RC・3階	1961(S36)年9月	315m ²
⑤	配膳室	S・1階	1973(S48)年3月	25m ²
⑥	職員便所	RC・1階	1981(S56)年11月	21m ²
⑦	階段室	S・3階	2004(H16)年10月	104m ²

※1 RCとは、Reinforced Concreteの略でRC造は鉄筋コンクリート造のことです。

Sとは、Steelの略でS造とは鉄骨造のことです。

※2 棟名称及び棟番号は、本計画内で区別しやすく呼称するものであり、学校施設台帳の登録名称・番号とは異なる。

〈 既存施設の各室面積表 〉

施設	階数	室名	室数	各室床面積 [㎡]	延床面積 [㎡]
校舎	1階	普通教室	5	65.70	328.50
		家庭科室	1	90.00	90.00
		家庭科準備室	1	32.85	32.85
		低学年図書室	1	65.70	65.70
		職員室 放送室	1	135.00	135.00
		校長室	1	32.85	32.85
		会議室	1	65.70	65.70
		保健室	1	65.70	65.70
		便所(女)	2	20.25	40.50
		便所(男)	2	20.25	40.50
		職員便所(男・女)	1	20.25	20.25
		更衣室	1	32.85	32.85
		倉庫	1	40.50	40.50
		階段室 倉庫	2	28.35	56.70
		階段室	2	27.00	54.00
		職員昇降口	1	20.30	20.30
		昇降口1	1	32.85	32.85
		昇降口2	1	65.70	65.70
		昇降口3	1	32.85	32.85
		廊下・その他	1	488.50	488.50
		2階	普通教室	6	65.70
	学習室 備品室		1	65.70	65.70
	図工室		1	90.00	90.00
	図工準備室		1	32.85	32.85
	視聴覚室		1	65.70	65.70
	図書室		1	135.00	135.00
	図書準備室		1	32.85	32.85
	ふれあい広場		1	65.70	65.70
	児童会室		1	65.70	65.70
	相談室		1	32.85	32.85
	コンテナ室		1	20.25	20.25
	便所(女)		2	20.25	40.50
便所(男)	2		20.25	40.50	
階段室 倉庫	2		28.35	56.70	
階段室	2	27.00	54.00		
廊下・その他	1	488.50	488.50		

施設	階数	室名	室数	各室床面積 [㎡]	延床面積 [㎡]
校舎	3階	普通教室	8	65.70	525.60
		理科室	1	90.00	90.00
		理科準備室	1	32.85	32.85
		パソコン室	1	131.40	131.40
		音楽室	1	135.00	135.00
		音楽準備室	1	32.85	32.85
		資料室	1	32.85	32.85
		コンテナ室	1	20.25	20.25
		便所(女)	2	20.25	40.50
		便所(男)	2	20.25	40.50
		廊下	1	430.20	430.20
		階段室 倉庫	2	28.35	56.70
		階段室	2	27.00	54.00
		廊下・その他	1	488.50	488.50

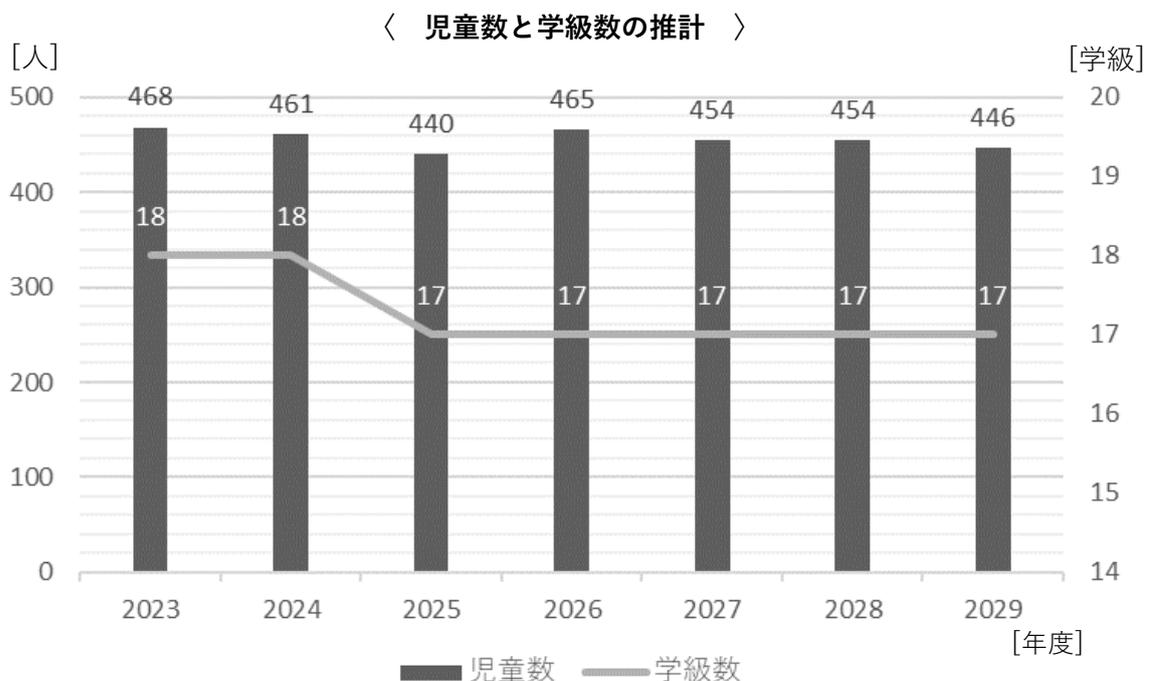
施設	延床面積[㎡]
公民館	295.11

施設	延床面積[㎡]
児童クラブ	315.00

2)富士小学校

①児童数と学級数の推計

2025(令和7)年5月1日時点において、富士小学校の児童数は440人で、学級数は17学級(普通学級15、特別支援学級2)であり、2029(令和11)年度までの児童数と学級数の推計は下記表のとおりです。



※2023～2025(令和5～7)年度は実績値であり、2026～2029(令和8～11)年度は2023(令和5)年5月1日時点での見込みである。

②施設の現状と課題

【 校舎 】

- ・普通教室が南舎と北舎に分かれており、異学年交流がしにくい。
- ・1学年が集まれるような広い部屋やスペースがない。
- ・トイレは湿式で和式が中心となっており、故障も多い。
- ・一部の特別教室に空調が設置されておらず、専用の設備や器具等を使用しない場合は、普通教室で授業を行っている。

【 外構 】

- ・西門、東門からの登下校もあるが、南門から登下校する児童が最も多い。
- ・西門からの児童の登下校に対して、駐車場との歩車分離ができておらず、事故につながる恐れがある。
- ・駐車場は計35台駐車可能となっているが、分散配置されていて使いづらい。主に職員用として利用している。

③特別教室等の利用状況

小学校と公民館、児童クラブの複合化にあたって、地域住民への特別教室の開放が、小学校の授業カリキュラムと両立可能であるかを把握するため、2024(令和6)年度の特別教室の利用状況及び稼働率を下記表にまとめました。

屋内運動場及びグラウンドの稼働率は8割以上となっているが、その他の特別教室は4～6割程度となっているので、未利用時間を地域住民へ開放する余地は十分あると言えます。

〈 富士小学校の特別教室等の利用状況 〉

曜日	時限	音楽室	図工室	家庭科室	理科室	屋内運動場	グラウンド
月	1	○	○	×	○	○	○
	2	×	○	×	○	○	○
	3	○	×	×	×	○	○
	4	○	×	×	○	○	○
	5	×	×	×	○	○	○
	6	×	×	×	×	×	×
火	1	○	×	○	○	○	○
	2	○	×	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○	○
	5	×	×	×	○	○	×
	6	×	×	×	○	○	○
水	1	○	○	×	○	○	○
	2	○	○	×	○	○	○
	3	○	○	○	×	○	○
	4	○	○	○	×	○	○
	5	○	○	×	○	×	×
	6	×	○	×	○	○	○
木	1	○	×	×	×	○	○
	2	○	×	×	×	○	○
	3	○	○	×	○	○	○
	4	○	○	×	○	○	○
	5	×	×	×	×	×	○
	6	×	×	×	×	×	×
金	1	○	○	○	×	○	○
	2	×	○	○	×	○	○
	3	×	○	○	×	○	○
	4	○	○	○	×	○	○
	5	×	○	○	○	×	×
	6	×	○	○	○	○	○
稼働率		60%	60%	40%	60%	83%	83%

※1 凡例/○：学校利用(授業)、×：利用なし

※2 稼働率 = 学校利用 / 週30時限

3)富士公民館

富士公民館では、地域住民によって社交ダンスや将棋、モルックなどのサークル活動が積極的に行われています。その中には、100名近くの参加者が集まるイベントも催されています。

①施設の現状と課題

- ・トイレが湿式で男女共用となっており、使いづらい。
- ・高齢者の利用が多く、エレベーターを設置していないため、2階の部屋を利用しづらい。
- ・公民館で行われている活動が、外から見えにくい。
- ・公民館北側に専用駐車場があるが、利用者が多いため、駐車スペースが足りない。
必要な場合は、周辺にある市の所有する駐車場を使用し、対応している。

②富士公民館の利用状況

2024年度における公民館の利用状況について、サークル活動を中心に下記表のとおりまとめました。

〈 サークル活動による富士公民館の利用状況 〉

曜日	時間	利用	種目	備考
月	午前	○	パソコン教室	
	午後	○	オカリナ演奏	第2、4週
	夜間	×	—	
火	午前	○	社交ダンス	
	午後	○	健康体操	第2、4週
	夜間	○	空手	子ども参加
水	午前	○	社交ダンス	
	午後	○	フラダンス	第2、4週
	夜間	○	フラダンス	
木	午前	×	—	
	午後	○	オカリナ演奏	
		○	パッチワーク制作	第2、4週
夜間	○	将棋		
金	午前	×	—	
	午後	○	詩吟	毎月2回
	夜間	○	空手	子ども参加
土	午前	×	—	
	午後	×	—	
	夜間	○	将棋	子ども参加
日	午前	×	—	
	午後	×	—	
	夜間	×	—	

※1 サークル活動での利用のみ記載しており、個別の予約は除く

※2 年末年始(12月28日から翌年の1月4日まで)は休館日

4) 富士児童クラブ

下校後に保護者が就労等の理由でご家庭に不在となる方を対象に、子どもに適切な遊びと生活の場を提供しています。

①施設の現状と課題

- ・富士小学校から距離がある。

②富士児童クラブの利用状況

【開所(預かり)時間】

- ・毎週月曜日から金曜日まで 下校時間から午後7時まで
- ・毎週土曜日、学校長期休業日(夏休み、冬休み、春休み)、学校の平日振替休校日、県民の日学校ホリデーについては、午前7時30分から午後7時まで
- ※日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日まで)は休み

【遊び場】

- ・2階に運動スペースがある。

【駐車場】

- ・11台分

③複合化する際の課題認識等

ワークショップでの意見や富士児童クラブ職員、子育て支援課へ複合化する際の課題認識について聞き取りをしました。諸室や設備に関する要望は、今後の基本設計の際に記載いたします。

【事務室について】

- ・個室は必要ないが常に目を届かせる必要があり、オープン空間が良い。

【建物出入口について】

- ・こどものセキュリティを考え、児童クラブに不特定な人の出入りは避ける。
- ※安心できるセキュリティラインと使い勝手が良い諸室配置に考慮する。

【駐車場】

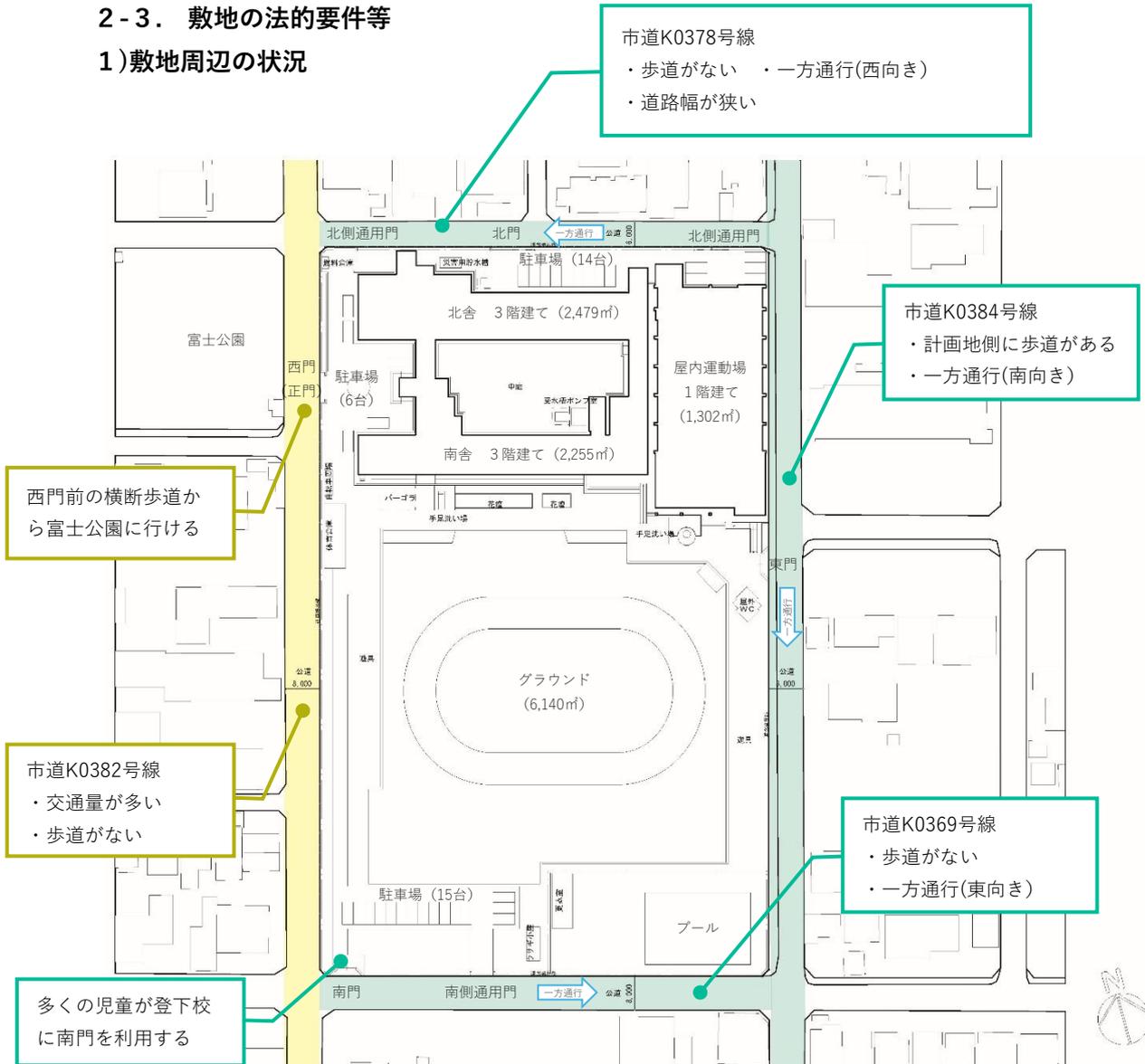
- ・時間帯によって送迎時は混雑する。富士児童クラブ用に10台程度は確保が必要。

【その他】

- ・こどもの専用区画として1人あたりおおむね1.65㎡以上で、定員は少なくとも現在の定員は確保する。

2-3. 敷地の法的要件等

1) 敷地周辺の状況



2) 都市計画における計画条件

- ・ 主要用途：小学校、公民館、学童保育所
- ・ 都市計画区域：尾張都市計画区域
- ・ 区域区分：市街化区域
- ・ 用途地域：第一種中高層住居専用地域
(建蔽率 60%、容積率150%)
- ・ 防火地域：指定なし(法22条区域内)
- ・ 斜線制限：道路斜線(適用距離) 20m
(勾配) 1.25
隣地斜線(立上り) 20m
(勾配) 1.25
- ・ 日影規制：
(建物高さ) 10m 越え
(規制範囲) 5m ライン/ 3時間
10m ライン/ 2時間
(測定面) 平均地盤面からの高さ4.0m
- ・ 前面道路：法第42条第1項第1号道路
- ・ 前面道路幅員：
西側 8.0m(市道K0382号線)
北側 6.0m(市道K0378号線)
東側 8.0m(市道K0384号線)
南側 8.0m(市道K0369号線)

3) 関連法令及び条例等

① 関係法令

- ・ 建築基準法
- ・ 消防法
- ・ 都市計画法
- ・ 景観法
- ・ 水道法
- ・ 下水道法
- ・ ガス事業法
- ・ 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律(建築物省エネ法)
- ・ バリアフリー法(高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律)
- ・ 学校教育法
- ・ 児童福祉法
- ・ 社会教育法
- ・ 厚生省令石綿障害予防規則(既設建物にアスベストが含まれる場合)
- ・ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)

② 条例

- ・ 愛知県建築基準条例
- ・ 人にやさしい街づくりの推進に関する条例
- ・ 一宮市景観条例
- ・ 一宮市緑地の保全及び緑化の推進に関する条例
- ・ 一宮市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

③ その他

- ・ 一宮市景観計画
- ・ 一宮市地域防災計画
- ・ 景観デザイン会議

4) その他の前提条件

複合施設の基本計画策定にあたって、その他の前提条件は以下とします。

【 条件1 】

複合施設への機能移転は対象敷地内に納めること

【 条件2 】

屋内運動場及びプールについては、本計画の対象外とするが、それらの既存施設を十分に活用できるような外構計画を検討し、利用者の動線に配慮すること

【 条件3 】

運動場については、流域貯留施設として整備済みであるため、計画対象外とする。

【 条件4 】

公民館及び児童クラブと複合化することにより、必要とされる駐車場面積の拡大が予想されるため、運営に支障をきたさず、安全性に配慮した駐車計画とすること

【 条件5 】

災害時の物資搬入の動線確保など、指定緊急避難場所として機能するような計画とすること

3. 施設整備のコンセプト

3-1. 複合施設(全体)の整備のコンセプト

今回の整備計画は、富士小学校の再整備にあわせて、富士公民館及び富士児童クラブを複合化することで、富士小学校をだれもが安心して集まることのできる「地域コミュニティの拠点」とすることを目的としています。

複合施設には、常に変化していく現代の教育環境に適応するような小学校機能が求められます。ここで日々を過ごし、成長していく子どもたちにとって、毎日通うのが楽しくなるような学校を目指します。そこに、多くの地域住民が集まり、様々な活動を通して交流できるような公民館機能が加わります。公民館機能が複合化することで、地域住民と子どもたちの交流が生まれ、伝統文化や社会性を学ぶ貴重な機会が提供されます。また、地域住民の見守りがあることで、子どもたちは安心して小学校に通うことができます。一方で、地域住民にとっては、子どもたちとの交流はもちろん、施設内にある小学校設備を利用することで、これまでにはない新しい活動の展開が期待できます。また、より地域に対して開かれた場所に整備されることで、公民館の活動を広く地域住民に広報することにもつながります。

子どもたち、地域住民が愛着をもって通えるような「地域コミュニティの拠点」とするため、下記の5つ整備方針を示します。

1. 教育カリキュラムの変化や児童数の変化など、多様な学習形態に柔軟に対応できるような施設とします。
2. 各施設の機能を一部共用することにより、施設全体の省スペース化を図るとともに、コンパクトで管理しやすい施設とします。
3. 子どもたちや地域住民がアクセスしやすい動線計画とし、歩車分離に配慮して安心安全に通うことのできるような外構計画・駐車計画とします。
4. 放課後や休日利用も含めて、小学校、公民館及び児童クラブそれぞれの運営に支障をきたさない管理・セキュリティ計画とします。
5. 高齢者や障害のある方など、誰もが利用しやすいように、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設とします。

3-2. 小学校の整備のコンセプト

- ・ICT など最新の教育技術やカリキュラムを導入できる環境を整備します。
- ・特別支援教室や通級指導教室など、多様な教育的ニーズに寄り添い、一人ひとりに適した学びの場を提供できる環境を整えます。
- ・近年の異常気象に対しても、快適に過ごせるような室内温熱環境を整備します。
- ・異学年交流が生まれるようなワークスペース・教室配置とします。
- ・児童を見守りやすい場所に職員室・校長室を配置し、多くの業務を抱える教職員が働きやすい環境を整備します。
- ・特別教室は教育カリキュラムに支障のない範囲で、公民館と共用できるような配置とします。また、放課後子ども教室においても利用しやすい配置とします。
- ・児童が日常を過ごす教室のほか、トイレや手洗いなどの水廻りなどは、使いやすく明るく清潔で過ごしやすい生活空間とします。
- ・将来的な児童数の変化に対応できるように、空き教室も利用しやすい教室配置とします。

3-3. 公民館の整備のコンセプト

- ・だれもが気軽に立ち寄れて、居心地のよい空間を目指します。
- ・児童や地域住民に対して、公民館での活動が見えるような開放的な空間を整備します。
- ・児童と地域住民が自然に交流を育めるような空間を目指します。
- ・様々な活動内容に応じて、フレキシブルに対応できるような多目的スペースを整備します。
- ・エレベーターの配置など、高齢者や障害のある方が負担なく利用できるようにバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
- ・新たな活動やイベントを展開できるように、特別教室は公民館でも利用できるような配置計画及び設備計画(防音、衛生など)とします。

3-4. 児童クラブの整備のコンセプト

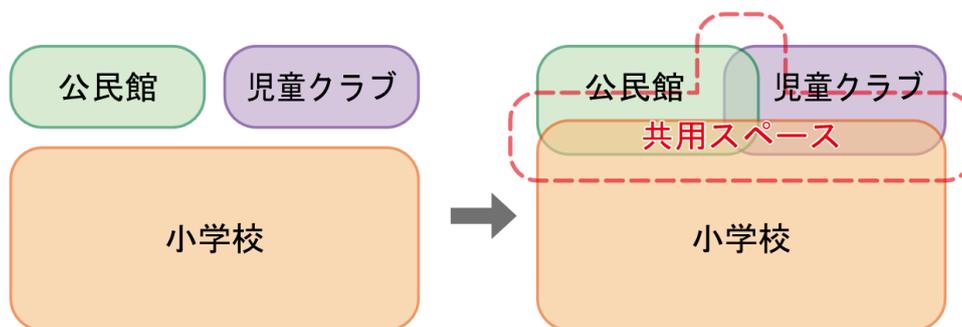
- ・児童の放課後の過ごし方によって、いくつかのスペース(運動できるスペースや静かに勉強や読書をするスペースなど)を整備します。
- ・児童の送迎がしやすいような動線計画及び駐車計画とします。
- ・出入口は児童クラブ専用とし、事務室や静養室を整備します。
- ・手洗いやトイレ等は学校施設と共用とします。

3-5. 共用スペースの整備のコンセプト

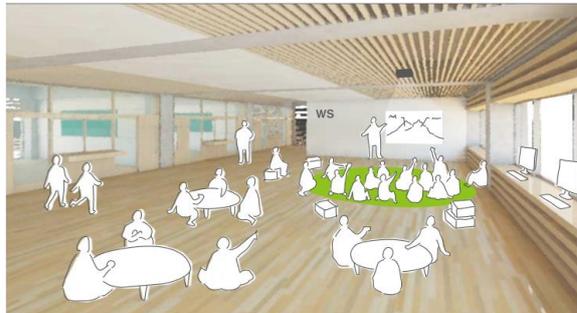
小学校、公民館、児童クラブを併設する複合施設として、多様な世代の利用を想定します。3つの機能が共存しながら施設全体の規模の適正化を図るために、スペースや機能が重なり、つながり合う部分が生まれる「共用スペース」の在り方について整備方針を示します。

- ・安心・安全で快適な教育環境に配慮した計画とします。
- ・だれもが使いやすいユニバーサルデザインを考慮した空間づくりを検討します。
- ・地域の様々な活動用途に合わせて特別教室などを利用できるような運用と施設配置を検討します。
- ・子育て世代や高齢者、若者など多世代にわたる利用者にとって過ごしやすい空間づくりを目指します。
- ・屋内運動場は、児童の利用はもちろん地域利用や災害時の活動も見据えた計画とします。
- ・児童や地域住民から互いの活動が見えるような平面計画とします。
- ・放課後の児童の居場所や地域住民との交流活動など、多様な活動等に対応できる空間づくりを検討します。
- ・児童クラブの活動をサポートするような空間づくりを検討します。
- ・小学校、公民館、児童クラブは連続性を保ちながら、安全性の確保のため、セキュリティが明確な計画とします。

〈 共用スペースのイメージ 〉



〈 富士コモン(共用スペース)のイメージ1 〉 〈 富士コモン(共用スペース)のイメージ2 〉



4. 基本計画

4-1. 計画規模の算定

1) 計画学級数

計画学級数は、20学級(普通学級18、特別支援学級2)と設定します。

※2025年5月1日時点での学級数は17学級(普通学級15、特別支援学級2)

2) 計画面積

下記表に基づいて、複合施設全体の計画面積を設定し、この床面積内に、小学校機能、公民館機能、児童クラブ機能を複合化させます。

〈 交付金等の条件に基づく面積 〉

補助金	基準面積	条件及び面積算定
公共施設等適正管理推進事業債 (総務省)	5,530㎡	複合化の面積が複合前の既存面積から10%以上削減 校舎 5,534㎡ } 公民館 295㎡ } 6,144㎡ ▶ 5,530㎡ 児童クラブ 315㎡ }
学校施設環境改善交付金 (文部科学省)	6,461㎡	学校に従属して複合化される施設の既存延床面積から10%以上削減 校舎 5,912㎡※ } 公民館 295㎡ } 610㎡ ▶ 549㎡ } 6,461㎡ 児童クラブ 315㎡ } ※ 校舎基準面積は「公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目」より算出

※補助率について

- ・公共施設等適正管理事業債：充当率90%、交付税措置率50%

(事業期間は、令和4年度～令和8年度)

- ・学校施設環境改善交付金(改築+複合化)：交付金算定割合1/2

(※改築必要面積に対する配分基礎額の1/2)

以上から、事業期間において「交付金等」の種類や内容が変わる可能性はあるが、事業費を出来る限り抑え、コンパクトで管理のしやすい学校施設とするため、「公共施設等適正管理事業債」の対象となる5,530㎡を上限として計画します。

4-2. 諸室面積リスト(想定)

2-2. で整理した既存施設の各室面積表に加え、各回ワークショップの中で抽出された意見・要望を踏まえて、複合施設に必要な諸室とその床面積について、下記表に整理しました。

ただし、以下の表はあくまで基本計画段階の想定であり、今後の基本設計及び実施設計によって適宜、変更・調整していくものとします。

〈 諸室面積リスト(想定) 〉

エリア	部屋・スペース名	面積(m ²)	部屋数	計(m ²)	備考	
小学校 エリア	管理諸室 エリア	職員室	98	1	98	児童玄関及びグラウンドに面して計画(放送室・職員会議室含む)
		校長室	35	1	35	職員室に隣接して計画
		保健室	49	1	49	どこからでもアクセス容易な位置とし、外部から直接出入が可能
		相談室	16	2	32	プライバシーに配慮し、保健室と行き来がしやすい配置
		職員休憩室	12	1	12	視線の気にならない箇所に配置
		職員更衣室	12	1	12	
		職員トイレ	16	1	16	
		小計			254	
	普通教室 エリア	普通教室	63	18	1,134	
		多目的教室	63	1	63	予備教室として利用を想定
		特別支援教室	49	2	98	1階配置が望ましい、静かな環境に配置
		通級指導教室	42	2	84	静かな環境に配置
		小計			1,379	
	特別教室 エリア	図書室	189	1	189	
		理科室	99	1	99	
		第1音楽室	99	1	99	防音仕様として計画
		第2音楽室	99	1	99	防音仕様として計画
		図工室	99	1	99	
		家庭科室	99	1	99	
		準備室	27	5	135	各特別教室横に配置
	小計			819		
公民館エリア	大会議室	66	1	66	小会議室と一体利用可能(100名程度収容)	
	小会議室	49	1	49		
	和室	35	1	35		
	事務室	24	1	24		
	多目的室	26	1	26		
	収納	21	1	21		
	倉庫	26	1	26		
	トイレ	35	1	35	学校と共有	
	公民館玄関	24	1	24		
	小計			306		
児童クラブエリア	遊戯室1	70	1	70	軽運動ができるスペースとして想定、音楽室としての代用も可能	
	遊戯室2	49	1	49	勉強や読書ができるスペースとして想定	
	事務室及び静養室	16	1	16		
	収納	12	1	12		
	トイレ	49	1	49	学校と共有	
	児童クラブ玄関	24	1	24		
	小計			220		
その他	児童玄関	98	1	98		
	職員玄関	16	1	16		
	富士コモン	112	1	112	カフェスペース、ギャラリー、熱中症の一時避難所などとしての利用を想定	
	トイレ	49	4	196	多目的便所は各階1か所計画、手洗い設備を充実させる	
	配膳室			88	各階に配置、コンテナ対応の荷物用昇降機設置	
	倉庫・教材庫			88	各階に配置	
	階段・廊下・ワークスペース等			1,610		
	小計			2,208		
	床面積			5,186		
	小学校エリア 床面積合計			4,660		
その他施設	屋内運動場		-	1,302	1階建て	
	グラウンド		-	-	150mトラック、50m直線走路、手洗い場	
	駐車場		-	-		
	駐輪場		-	-	10台程度	
	遊び広場		-	-	120㎡程度、児童クラブの遊戯室から直接出入が可能	
	屋外便所	20	1	20		
	体育倉庫	50	1	50		
備蓄倉庫	30	1	30			
	床面積			1,402		
	全体延床面積			6,588		

【既存施設からの主な変更点】

■ 富士小学校

- ・既存の家庭科室は、調理室と被服室に分割し、それぞれの専門性を高めた形で整備します。
- ・既存では図書室が低学年用と高学年用に分かれていましたが、パソコン室や視聴覚室の機能も取り込み、1つの図書室として再編・整備します。
- ・既存の図工室は、授業に加えて地域住民の利用も見据え、多目的な工作活動が行える工作室として整備します。
- ・既存の会議室は、職員室の一角に設ける打合せコーナーとして整備します。
- ・既存では1箇所にとめられていたふれあい広場を、ワークスペースとして各階に分散して配置します。
- ・教職員が快適に勤務できる環境を整えるため、休憩室や更衣室を設けます。
- ・保健室に衣類を汚した児童のためのシャワーを設けます。

■ 富士公民館

- ・大会議室と小会議室は隣接して配置し、可動間仕切壁等で一体利用できるように整備します。
- ・円滑な管理運営を行うための管理事務室を設置します。
- ・エレベーターの設置など、高齢者や障害のある方が負担なく利用できるように整備します。
- ・利用者の拠り所となるとともに、地域活動の支援にも活用できる多目的スペースを整備します。(その他の面積に含む。)

■ 富士児童クラブ

- ・活動内容に合わせて規模を調整した2種類の遊戯室を設けます。
- ・遊戯室に隣接して、屋外の遊び広場を整備します。
- ・手洗いやトイレなどは学校と共用することで省スペース化を図ります。

4-3. 施設配置の比較検討

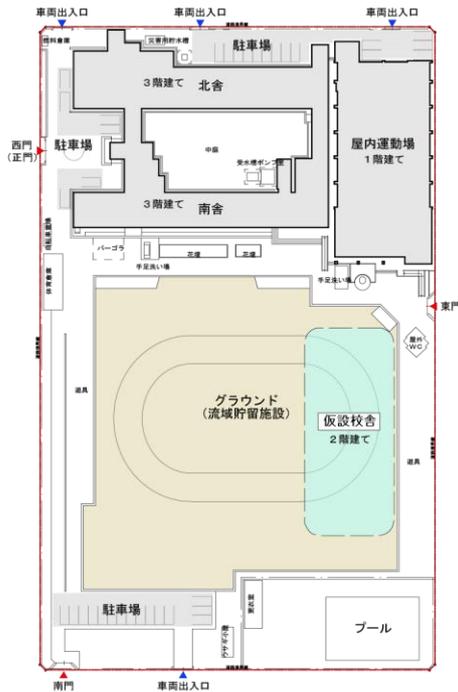
施設整備の前提条件、利用者の動線、校舎の機能、外構計画、周辺環境、工程及びコスト等を踏まえ配置計画を複数案比較検討し、基本計画ではC案「中央配置型の3階建」をもとに、計画案をまとめる方針となりました。(ただし、屋内運動場、グラウンド、プールは本計画対象外)

配置の特徴	A 従前配置型/2階建	B 北配置型/3階建	C 中央配置型/3階建	D 従前配置型/2階建 2期工事
配置イメージ				
動線	①児童の通学動線 主要アクセス(徒歩)	○ 東西側道路からアクセスしやすい	△ 西側道路からアクセスしやすい 東側道路から校舎が遠い	○ 東西側道路からアクセスしやすい
	②地域住民の動線 主要アクセス(徒歩・自転車・車)	○ 公民館の近くに駐車場を配置 ○ 徒歩・自転車の利用者はアクセスがしやすい	△ 駐車場から公民館まで敷地内で移動が必要 △ 徒歩・自転車の利用者は敷地内で移動が必要	○ 公民館の近くに駐車場を配置 ○ 徒歩・自転車の利用者はアクセスがしやすい
	③学童保育の動線	○ 学童の近くに駐車場を配置、送迎がしやすい	△ 駐車場から学童まで敷地内で移動が必要	○ 学童の近くに駐車場を配置、送迎がしやすい
	④災害時の体育館への避難・物資搬入の動線	○ 体育館が駐車場に隣接し災害時の対応がしやすい	△ 体育館から駐車場遠い	○ 体育館が駐車場に隣接し災害時の対応がしやすい
校舎	⑤仮設校舎の有無	△ 仮設校舎の建設を要する	○ 一部の仮設校舎の建設を要する 職員室を仮設にしなくてよい	○ 一部の仮設校舎の建設を要する
	⑥既存施設との関係 屋内運動場	○ 校舎から体育館へ出入りしやすい	○ 校舎から体育館へ出入りしやすい	○ 校舎から体育館へ出入りしやすい
	⑦校舎(教室)の日照	○ 南に面し比較的日当たりはよい	○ 南に面し比較的日当たりはよい	○ 南に面し比較的日当たりはよい
	⑧校舎内の交流のしやすさ	◎ 1フロアに6学年がまとまり、交流がしやすい	○ 6学年が2フロアに分かれる	○ 6学年が2フロアに分かれる
	⑨共有のしやすさ 複合用途の共有機能	○ セキュリティラインを設定しやすく、共有しやすい	○ セキュリティラインを設定しやすく、共有しやすい	○ セキュリティラインを設定しやすく、共有しやすい
外構	⑩敷地の有効活用	○ 従前の校舎配置により敷地の有効活用が図れる	△ 校舎北配置によりグラウンドと校舎の間に余地が発生する	○ 従前の校舎配置により敷地の有効活用が図れる
	⑪駐車場の確保	○ 約68台	△ 約45台	○ 約85台
周辺環境	⑫周辺住宅への影響	△ 低層のため影の影響が少ない ○ 低層のため圧迫感を与えない	× 北側住宅に影の影響あり △ 北側は圧迫感が想定される	△ 低層のため影の影響が少ない ○ 低層のため圧迫感を与えない
工程コスト	⑬工事期間	◎ 約2年2ヶ月	○ 約2年7ヶ月	○ 約2年7ヶ月
	⑭事業費	△ 1.10	○ 1.01	◎ 1.00

4-4. 施設建替計画

北舎・南舎の解体時期を分け、工事中においても一方の校舎を使用することで、必要な仮設校舎の規模を減らし、建設費用の削減を図ります。また、仮設渡り廊下を設置することで、校内の歩車分離を明確にし、より安全な工事計画とします。

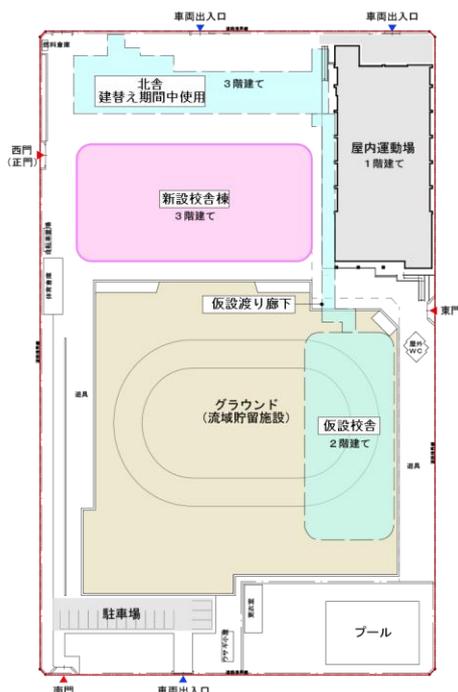
(1) 仮設校舎建設



(2) 南舎から仮設校舎へ引越し→南舎解体

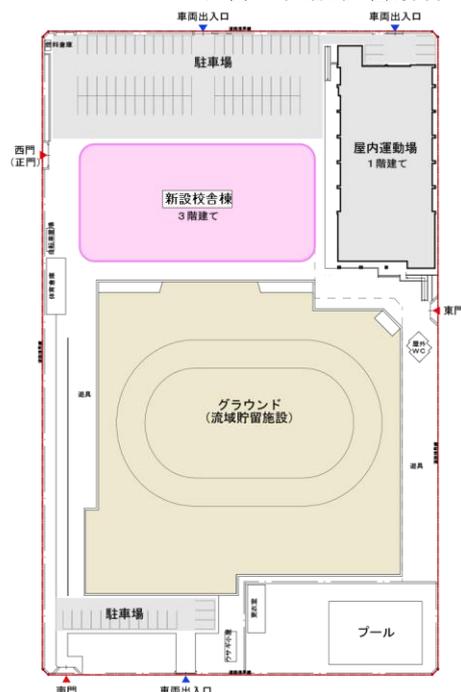


(3) 校舎新設(既設北舎使用)



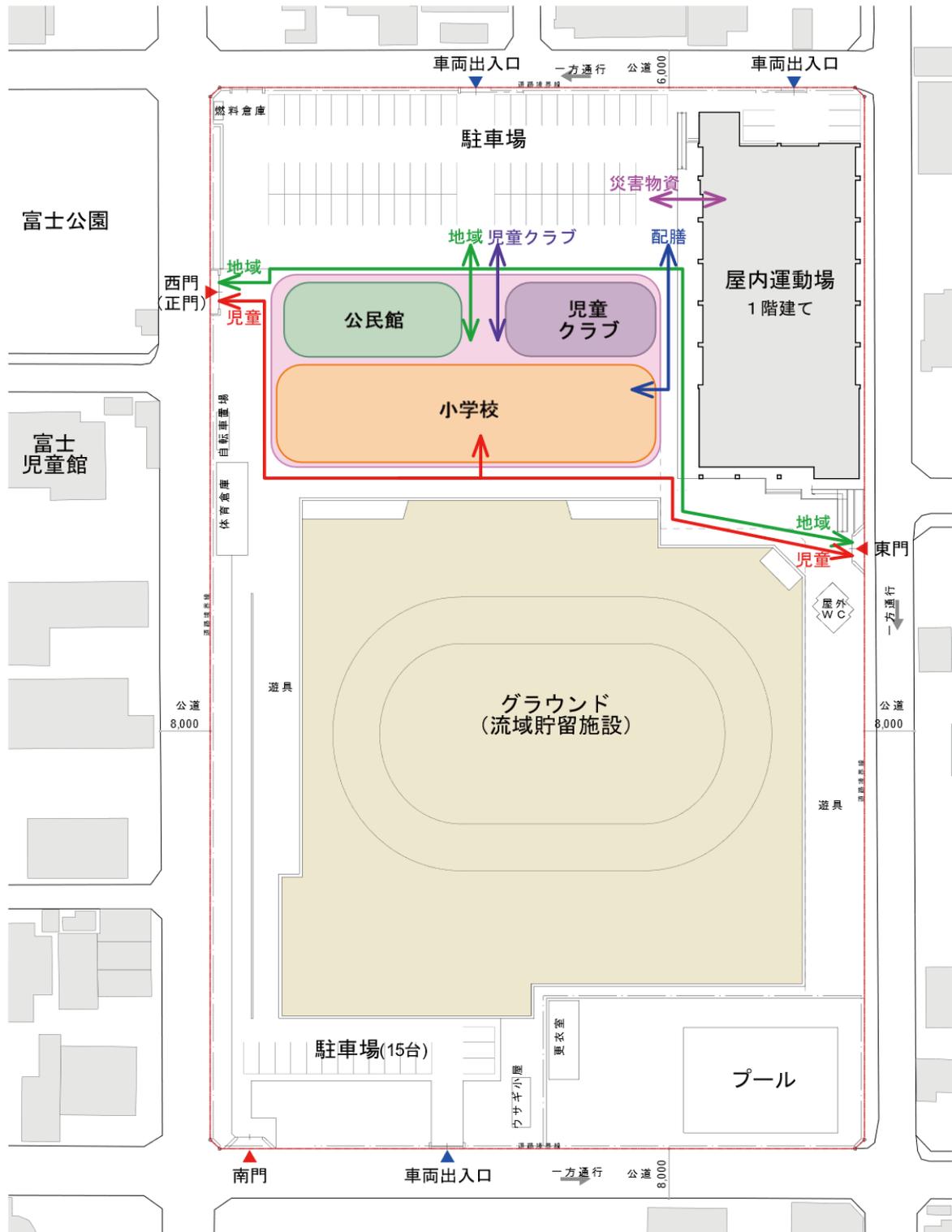
(4) 新設校舎へ引越し→

北舎・仮設校舎解体・外構工事



4-5. 施設配置計画

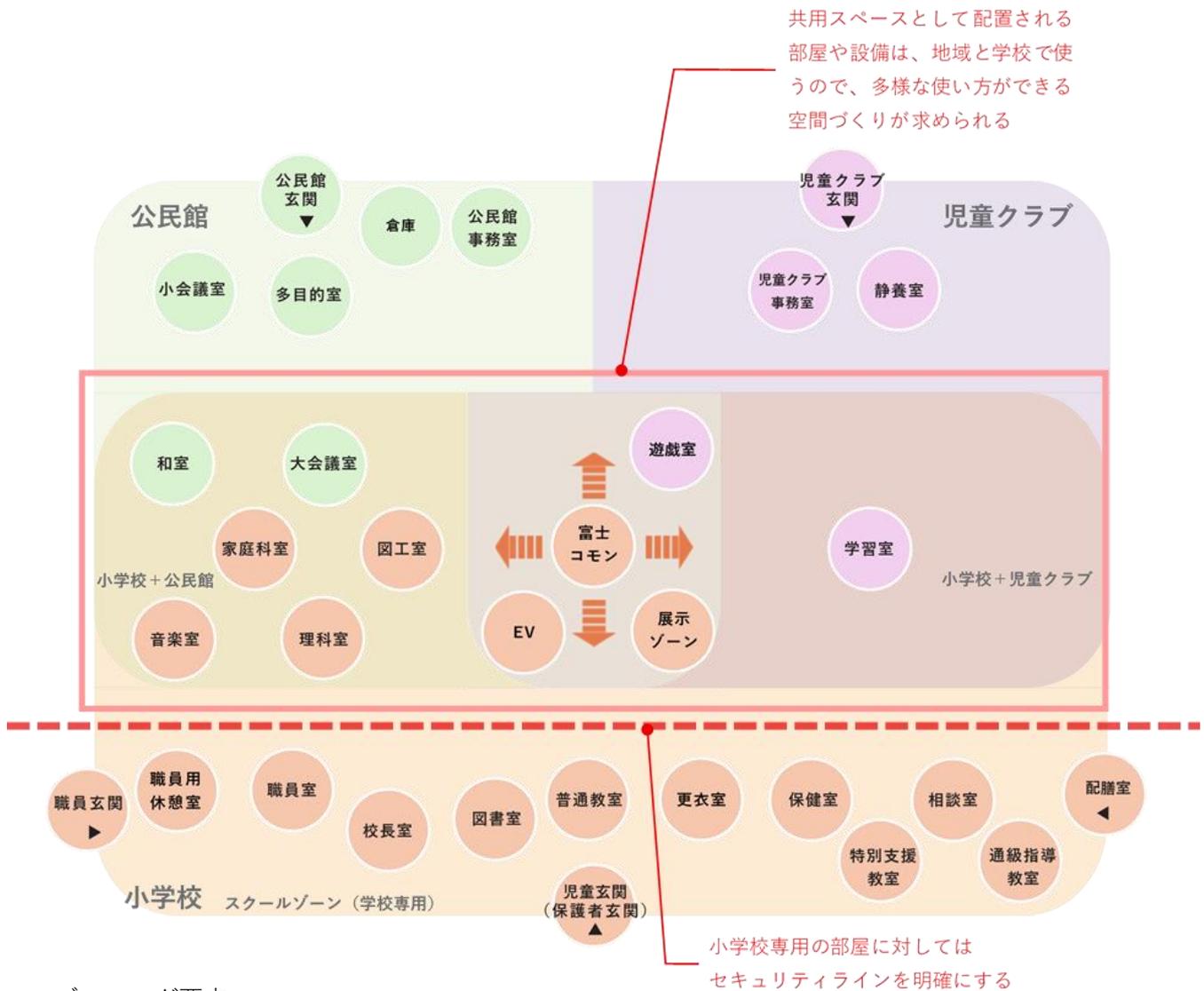
児童や地域住民の利用動線を考慮し、グラウンドに面した南側に小学校、正門からアクセスしやすい西側に公民館、送迎が容易な駐車場付近に児童クラブを配置します。また、校舎北側に駐車場を整備し、歩車分離を明瞭にすることで、利用しやすく安全な施設計画とします。



4-6. ゾーニング計画

具体的な部屋や設備がどのように複合施設に配置されるのか、各部屋(用途)の関係性を以下のような施設ゾーニング計画として作成しました。

〈 ゾーニング図 〉

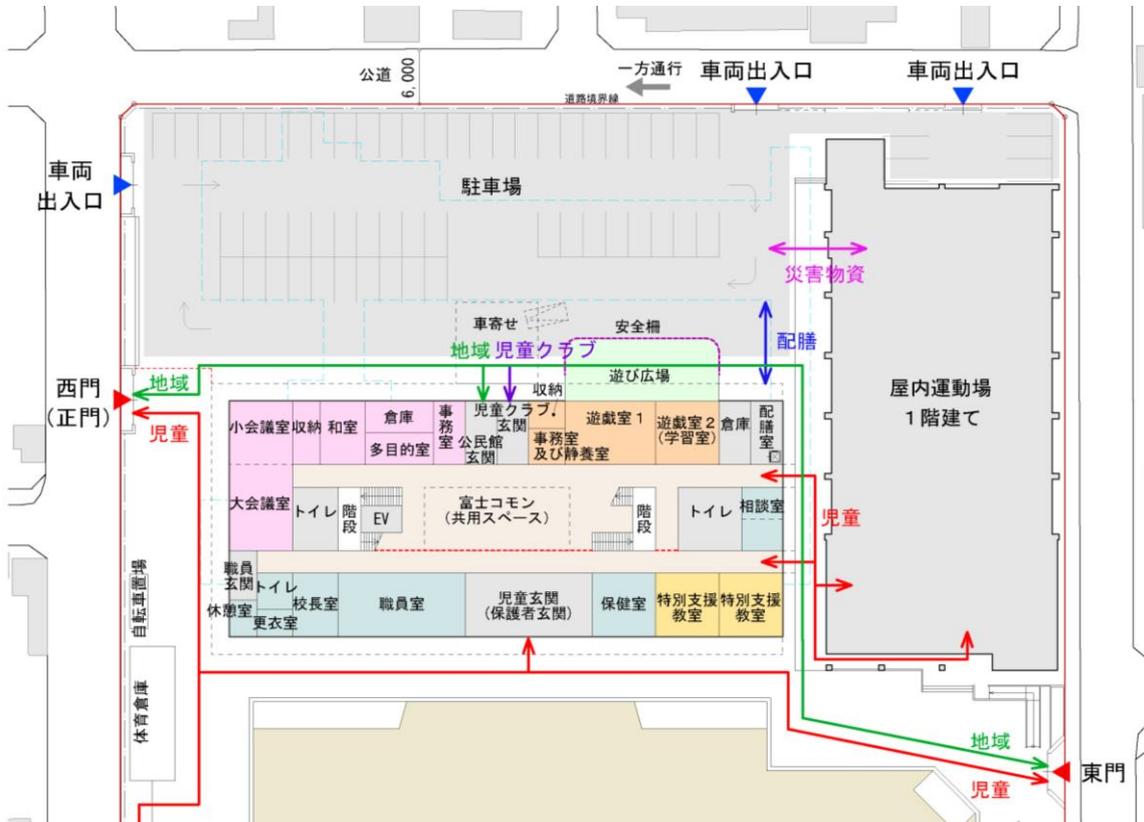


ゾーニング要点

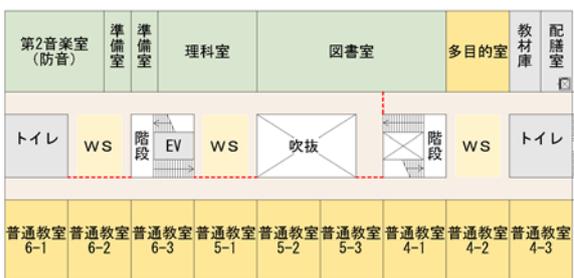
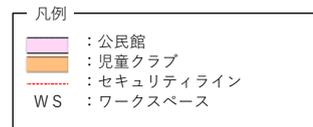
- ・施設の中に「富士コモン」という共用スペースを配置し、エレベーター、展示ゾーンなどの共用性の高い部屋や設備を配置する。
- ・特別教室や会議室は小学校と公民館の共用スペースとして配置することで、建物全体の省スペース化を図る。
- ・職員室の近くに視線の気にならない職員用の休憩室を設置する。
- ・児童クラブは、現在の定員が確保できるように、床面積を確保する。また、職員事務室、子どもの静養室を確保し、手洗い場、台所施設、トイレ等は学校施設と共用する。出入口は児童クラブ専用とする。
- ・特別教室等を利用して、放課後子ども教室を実施する。

4-7. イメージ図

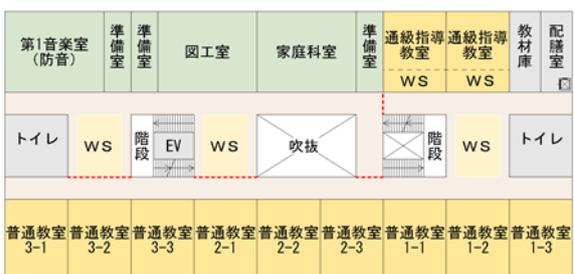
施設配置計画、ゾーニング計画をもとにイメージ図を作成し、小学校の学習スペースと複合施設の共用スペースとのセキュリティラインについてもワークショップで協議を行い、方針をまとめました。



配置兼1階イメージ図



2階イメージ図



3階イメージ図

プランの特徴

- ・南側に児童玄関、北側に公民館玄関、中央に「富士コモン(共用スペース)」を配置施設に入ると自然と交流が生まれる空間
- ・1階は「富士コモン」を中心に公民館、児童クラブ、学校の管理機能を配置。セキュリティ管理できるよう計画
- ・南面採光の明るい普通教室と、安定した光を取入れる北面採光の特別教室
- ・2、3階の中央にWS(ワークスペース)を設け、異学年交流を図る。

4-8. 構造計画

- ・指定緊急避難場所として位置づけられている施設となるため、構造体の耐震安全性の分類は「Ⅱ類(重要度係数1.25以上)」として計画します。
- ・建物躯体の耐久性や防耐火性能を考慮して、鉄筋コンクリート(RC)造を主構造として整備します。
- ・明るく温かみのある空間を創出するため、内装は積極的に木質化していくことを検討します。木材使用によるリラックス効果や調湿効果などが期待できます。

4-9. 環境設備計画

- ・機器更新やメンテナンスのしやすい設備計画を検討します。
- ・ワークスペースなどの開かれたスペースに対しては、スポット空調や居住域空調方式を取り入れるなどして、無駄なく空調するシステムを検討します。
- ・指定緊急避難場所として災害時に機能できるように、自家発電設備や災害用トイレの導入を検討します。
- ・環境への配慮のため、太陽光発電設備の設置などを検討します。
- ・建物の一次消費エネルギー量を大幅に削減するZEB基準(BEI値：0.50未満)の省エネ性能確保を検討します。

4-10. 安全対策・セキュリティ計画

- ・歩車分離に配慮した安全な外部動線とします。
- ・施設内及びグラウンド等の外部の見通しがよく、事故や異変が起きてもすぐに発見できるような外構計画・駐車計画とします。
- ・校門や通用口、施設の出入口になるような場所を中心に、セキュリティとして監視カメラを設置することを検討します。
- ・外部テラスや窓、吹抜け部などからの落下防止策を検討します。
- ・各施設と共用エリアについて、それぞれの利用時間帯や区画の仕様も含めて、セキュリティ方法を検討します。

4-11. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

- ・多くの世代が利用することが想定される施設となるため、だれも利用しやすく、安全に利用できる施設とします。

4-12. 概算事業費

複合施設の概算事業費は、基本計画段階では以下の金額を見込んでいます。(4-3. で示した施設配置の比較検討のうち、ワークショップで支持の多かった配置案Cを基に算出)

今後の基本設計・実施設計段階でも引き続き金額を検討・精査し、より詳細な事業費を算出いたします。

建物名	対象床面積 (㎡)	各事業費(単価 円/㎡×対象床面積㎡) ※税込み							事業費計 (円)
		新校舎設計費 33,000 (円/㎡)	仮設校舎設計費 18,000 (円/㎡)	解体設計費 6,000 (円/㎡)	新校舎建設費 541,000 (円/㎡)	仮設校舎建設費 150,000 (円/㎡)	解体工事費 81,000 (円/㎡)	工事監理費 9,000 (円/㎡)	
既設北舎	2,479	—	—	14,874,000	—	—	200,799,000	—	3,904,031,000
既設南舎	3,055	—	—	18,330,000	—	—	247,455,000	—	
仮設校舎	2,255	—	40,590,000	—	—	338,250,000	—	20,295,000	
新校舎	5,186	171,138,000	—	—	2,805,626,000	—	—	46,674,000	
項目計		171,138,000	40,590,000	33,204,000	2,805,626,000	338,250,000	448,254,000	66,969,000	

※1：設計業務費は2025(令和7)年度設計業務技術者単価に基づき算出

※2：新校舎建設費は2029(令和11)年度着工した場合の物価上昇率を見込むものとする。

※3：仮設校舎建設費は2028(令和10)年度着工した場合の物価上昇率を見込むものとする。

※4：解体工事費は2029(令和11)年度及び2031(令和13)年度に着工した場合の労務費上昇率を見込むものとする。

※5：工事監理費は2028～2031(令和10～13)年度を業務期間とした場合の業務費上昇率を見込むものとする。

※6：各設定単価は現時点での想定であり、実際とは異なる可能性がある。

4-13. 事業スケジュール

2026～2027(令和8～9)年度に基本設計・実施設計、2028～2031(令和10～13)年度に仮設校舎や既設校舎の解体、新校舎の建設工事を行い、供用開始は概ね2032(令和14)年度を想定しています。

〈 配置案C(中央配置型/3階建)の事業スケジュール 〉

項目	2026(令和8)年度	2027(令和9)年度	2028(令和10)年度	2029(令和11)年度	2030(令和12)年度	2031(令和13)年度	2032(令和14)年度
事業スケジュール	基本設計	実施設計	仮設校舎建設	現南舎解体	新校舎建設	一部供用開始 北舎・仮設解体 外構工事	全体供用開始

4-14. 設計段階における留意事項

基本設計における留意点は、以下とします。

① 室構成、面積配分、動線の最適化検討

基本計画で整理した諸室面積リストやイメージ図を踏まえ、設計段階ではより利用者にとって使いやすい施設となるよう、さらに内容を精査・整理していく必要があります。

② 駐車計画及び外部動線の検討

適正な駐車台数の確保や歩車分離による安全性の確保に加え、配膳車両の搬入経路、児童クラブの送迎時の動線への配慮、障がいのある方を含む誰もが不自由なく利用できるバリアフリー動線、さらに災害時の物資搬入経路についても検討していきます。

③ 共用スペースの再整理と活用方法の検討

ゾーニング計画で整理した共用スペースについて、再度構成を見直しながら、各スペースの家具配置や間仕切りの要否、さらに管理・運営方法などについて詳細に検討していく必要があります。

④ ワークスペースの詳細設計

小学校専用エリアに設けるワークスペースについては、学校側の意見をさらに詳細にヒアリングし、学習カリキュラムや異学年交流などの活用を見据えた最適な配置、規模、家具レイアウト等について検討を進めていく必要があります。

⑤ 公民館の機能と諸室の重複利用の再検討

公民館専用エリアの機能を再整理し、小学校の特別教室を公民館利用として活用するなど、可能な限り省スペース化を図るよう、機能の構成を精査していきます。

⑥ 施設運営管理方法の構築

小学校、公民館、児童クラブそれぞれの運営管理方法に加え、地域と学校を結びつけるコーディネーターの新たな配置なども含め、複合施設における各機能の円滑な運営や相互連携を促進するための体制づくりについて検討していく必要があります。

⑦ セキュリティラインの詳細設計

複合施設内における各専用エリアと共用スペースのセキュリティラインについて、時間帯ごとの利用状況や管理体制を踏まえた具体的な位置や区画方法を検討していく必要があります。

参考資料

1. ワークショップの概要

ワークショップを以下の日程で計4回開催しました。

	開催日時	場所
第1回	2025(令和7)年3月8日(土)9:30～12:00	富士公民館 2階大会議室
第2回	2025(令和7)年3月22日(土)9:30～12:00	富士公民館 2階大会議室
第3回	2025(令和7)年4月5日(土)9:30～12:00	富士公民館 2階大会議室
第4回	2025(令和7)年4月19日(土)9:30～12:00	富士公民館 2階大会議室

2. ワークショップの意見から得られた各施設のイメージ

■ 富士小学校

- ・各学級の交流の場となる周囲が囲われた中庭
- ・子どもたち(小学生)が主役の施設
- ・児童数の変化や学習形態に応じてフレキシブルに変化できる教室
- ・明るく清潔で子どもたちが通いたくなる学校
- ・学年ごとにまとまった教室配置

■ 富士公民館

- ・カフェや和室など、リラックスできる部屋やスペース
- ・DX推進ができる空間(WiFi、プロジェクタ、コンセント設備)
- ・公民館の活動の様子が児童や地域住民など外部から見える。
- ・高齢者が利用しやすいように主要な部屋は1階に配置
- ・公民館機能を簡素化し、学校施設を共有利用することで地域交流を図る。

■ 富士児童クラブ

- ・遊戯室は、日中空いている時に地域住民に開放
- ・運動して過ごすスペースと静かに読書や勉強をしたりして過ごすスペース
- ・送迎しやすいような配置

■ 共用スペース

- ・中庭やテラスを設置して、そこにテーブルやベンチを置いてリラックスできる空間
- ・子どもたちと地域住民が交流しやすい共用スペース
- ・中庭や多目的スペースは、喫茶利用、ダンスの発表会、熱中症の一時避難、児童クラブの外遊びなど、多目的な用途に利用

3. ワークショップ報告書

第1回 富士小ワークショップ

様々な特徴をもった学校と公民館の複合施設の事例の特徴やシーンを、類似事例を中心にいくつか解説し、富士小学校にも取り入れたい点や反対に好ましくない点などの意見を出し合い、目指したい施設や空間のポイントを共有しました。後半では、富士小学校が目指す交流のかたちに必要なスペースやその使用イメージについて具体的に意見を出し合いました。

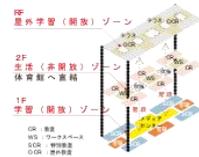
参加者：18名

プログラム：

- ① ワークショップにおける注意事項
- ② 類似事例紹介(岐阜小学校、中央中学校、長良小学校)
- ③ シン学校プロジェクトアンケート結果
- ④ 地域交流に必要なスペースや使い方の共有
- ⑤ 総括



② 類似事例紹介



▲ 岐阜小学校



▲ 中央中学校



▲ 長良小学校

④ 地域交流に必要なスペースや使い方の共有

第1回 富士小学校ワークショップ 意見 イメージマップ

各室の管理区分

: 共通

: 小学校

: 公民館

: 児童クラブ

トイレ

- ・現状は児童がトイレの使用を我慢している。
- ・現状は和式が多く、清掃がしづらい。
- ・公民館が現状男女共用となっているので、男女別としてほしい。
- ・障がいのある方も気兼ねなく利用できる多目的トイレがほしい。

調理室

- ・災害時の防災炊き出しの拠点にできるとよい。
- ・現状、授業での頻繁な利用はない。
- ・子ども食堂にも利用できるとよい。
- ・クッキングルームとして、オーブン・レンジなどの調理器具も使えるとよい。
- ・ミシンなどの利用は分けてもよい(被服室?)。
- ・公民館でのふれあいカフェサロンでは80名近く集まる。

屋上スペース

- ・使用可能とするか不可とするかの方針は決めておきたい。
- ・児童の飛び降りの危険があるので、使用するのであれば十分な安全対策が必要

オープンスペース

- ・個人ロッカーがオープンスペースにあると、トラブルの元になるので教室内にあったほうがよい。
- ・視線が行きとどけば、オープンスペースのセキュリティは機能するのではないか。
- ・見守りとの両立が必要であるが、1人になって落ち着けるスペースがあるとよい。
- ・生徒のパニック時の対応などに階段下などの空間を活かせるるとよい。

児童クラブ

- ・普段使用されていない昼間に活用できる方法があるとよい。

大会議室

- ・100名程度利用できる広さがあるとよい。
- ・シアタールームなど、多目的な部屋として利用できるとよい。
- ・体育館の代わりに冷暖房を完備させて、軽運動ができるスペースにできるとよい。
- ・大縄跳びや卓球など、単一クラスでの体育授業もできるとよい。

小会議室

- ・1教室程度の広さであればよい。

和室

- ・災害時の避難所として活用できればよい。
- ・部屋として設けなくても、可動式で畳コーナーを設営できる形でもよい。
- ・日本文化の教育に活用できればよい(浴衣の着付け、茶道etc)。

その他重要事項

- 交流と防犯は常にセットで検討すべき。
- 無駄なスペースをなるべく減らすため、複数用途で重ね使いをする。
- 小学校・公民館でのそれぞれの活動の様子が見える工夫が必要

第1回 富士小学校ワークショップ アンケート内の意見・アイデア

- ・駐車スペースが小学校周辺(北側、西側)に2ヶ所あるので、活用できるとよい。
- ・部活がなくなったので、地域のサークル活動の方が指導できる場が欲しい。
- ・教師からの性暴力などが起こりにくい環境にして欲しい。
- ・特別支援級をどこにどれだけ必要なのか、分けてしまうことが良いのか、学校側に聞きたい。
- ・機能の重なりがどのように次の行動を生むのか、世代や人と人とのつながりを生む場所があれば良いと思う。
- ・個人ロッカーをフリースペースに設ける案について、交流という観点からすれば良いのだろうが、盗難やイタズラの恐れがあるかと思う。
- ・保護者目線ではなく、子ども目線でも考えてあげて欲しい。平常でも、参観日などの特別な日でも、先生や保護者が全てみられるというのは、子供からすれば全て監視されていて息苦しい感じがするのではと思う。

第2回 富士小ワークショップ

周辺の敷地状況を確認しながら、地域と施設の関係性について検討しました。また、主要施設[校舎・公民館・児童クラブ]のゾーニングを複数のパターンに分類し、周辺環境や移動動線、グラウンドや屋内運動場との関係性を踏まえて、メリット・デメリット、利用イメージ等の検討を行いました。

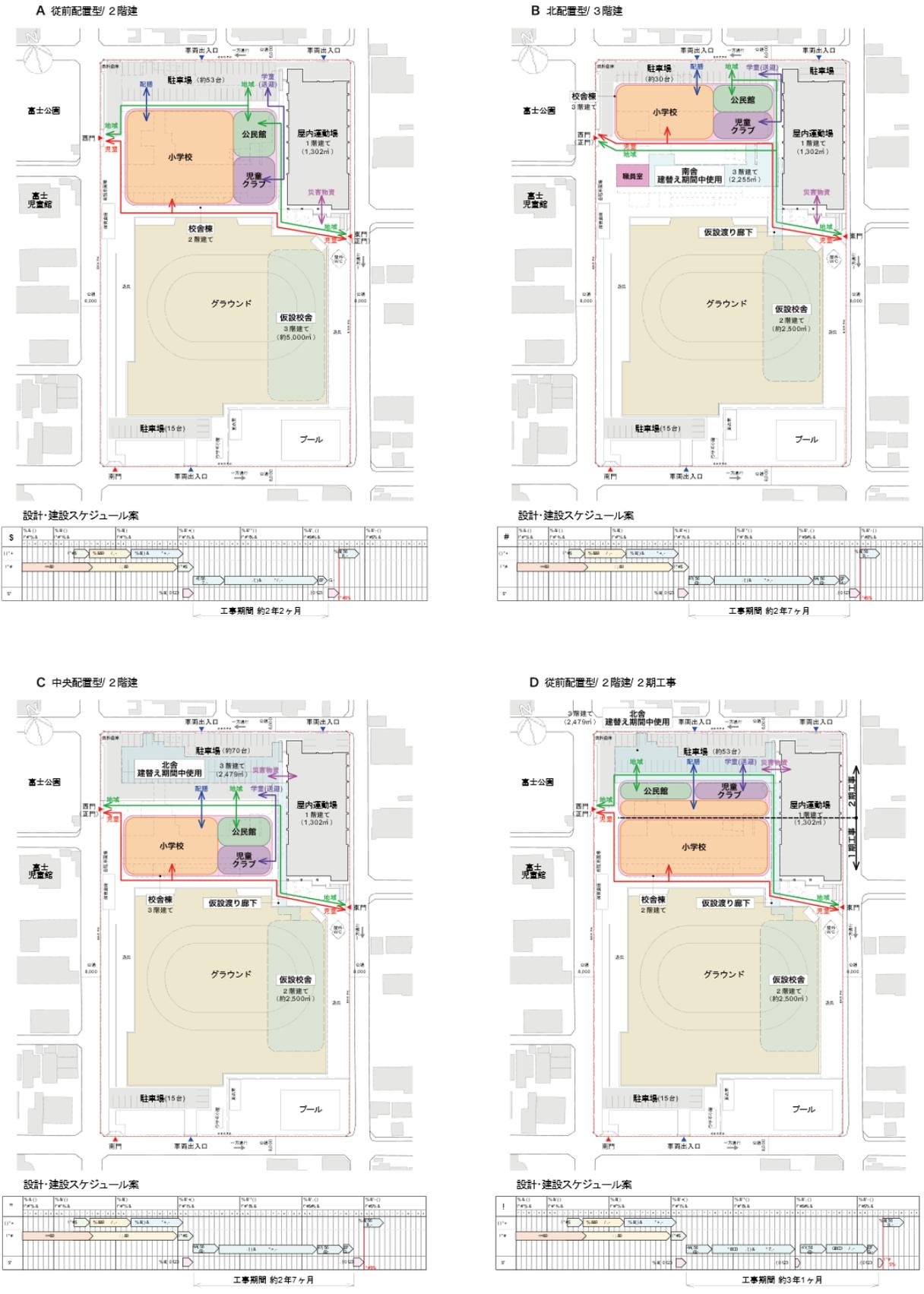
参加者：15名

プログラム：

- ① 第2回ワークショップの主な流れ
- ② 前回ワークショップのまとめ報告と類似事例紹介(高浜小学校)
- ③ 校舎建て替え配置案比較の説明
- ④ 施設ゾーニングの検討
- ⑤ 総括

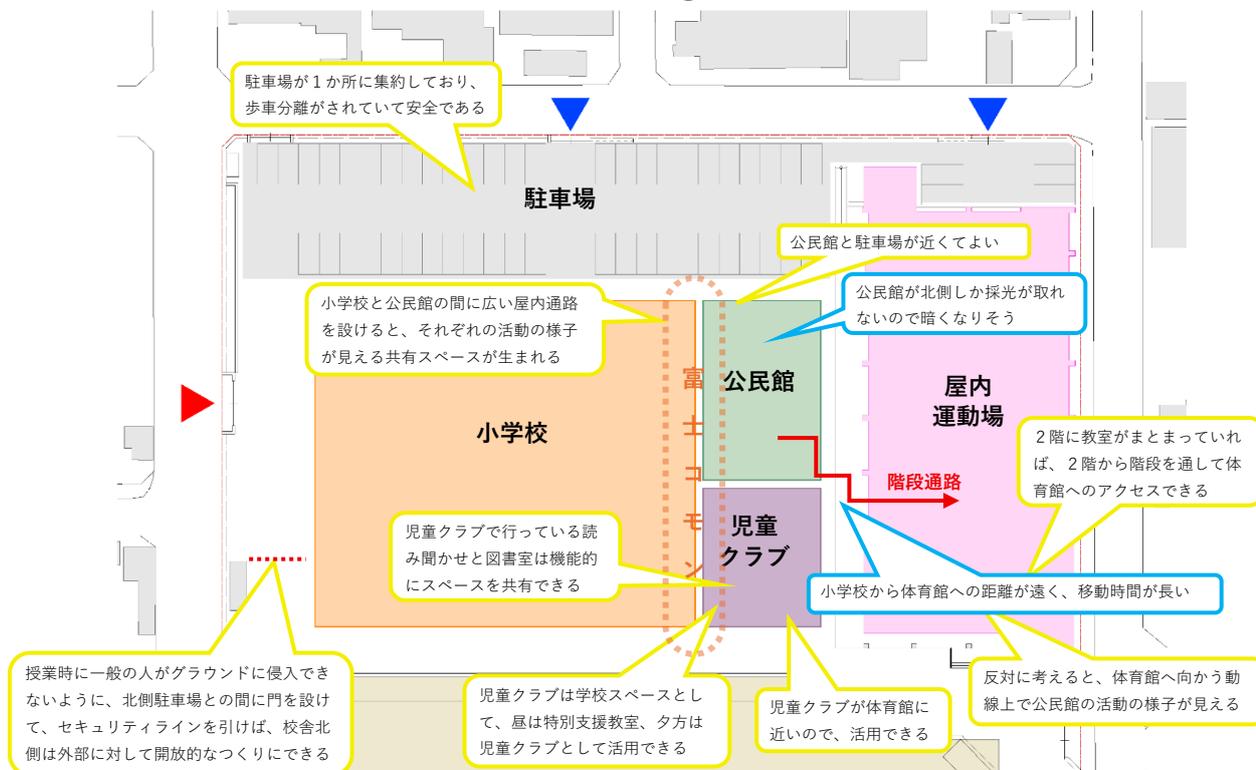


③ 校舎建て替え配置案比較の説明



④ 施設ゾーニングの検討

パターン①

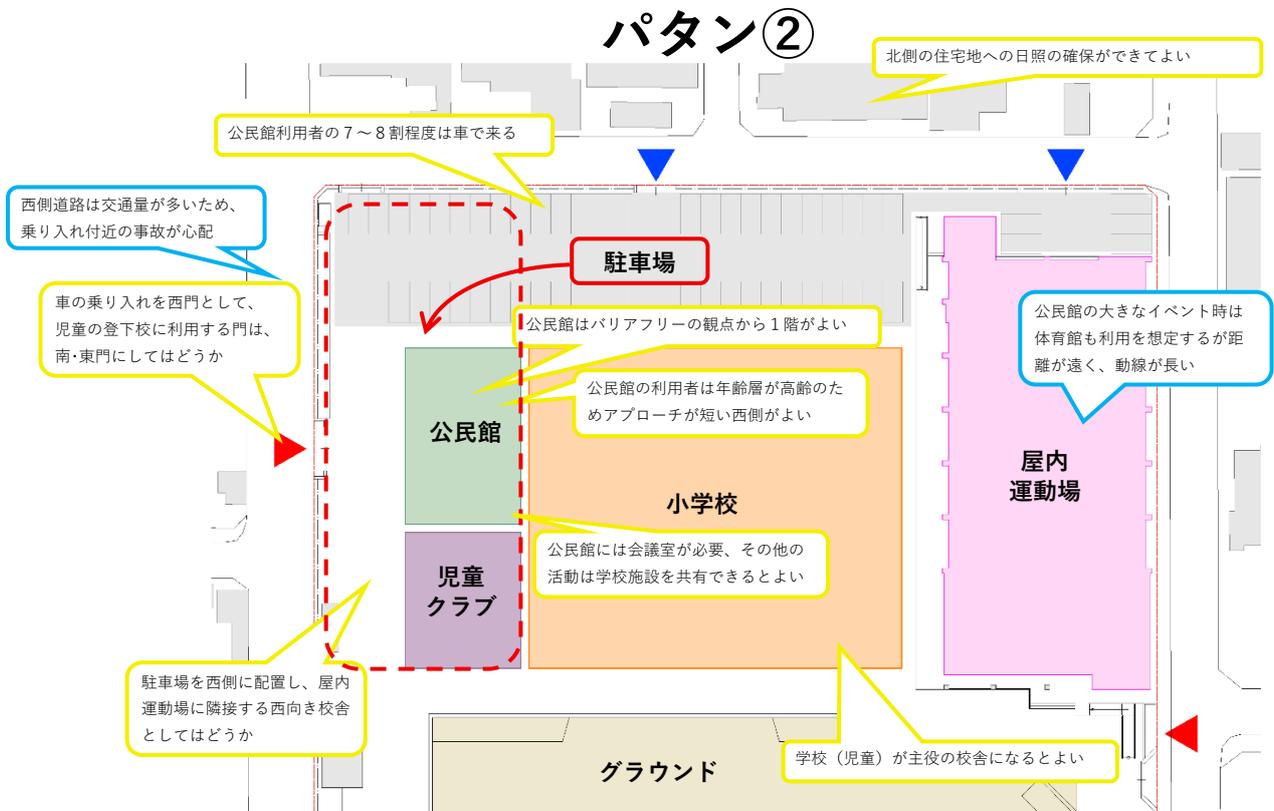


パターン①に対する意見・アイデア

○：肯定的な意見、△：否定的な意見

- 公民館と駐車場が近くてよい。
- △ 小学校から体育館への動線が、移動時間が長くてよくない。
→ 2階に教室がまとまっていれば、2階から階段を通して体育館へのアクセスできる。
- 反対に考えると、体育館へ向かう動線上で公民館の活動の様子が見える。
- 児童クラブは学校スペースとして、昼は特別支援教室、夕方は児童クラブとして活用できる。
- 授業時に一般の人がグラウンドに侵入できないように、北側駐車場との間に門を設けて、セキュリティラインを引けば、校舎北側は外部に対して開放的なつくりができる。
- 駐車場が1か所に集約しており、歩車分離がされていて安全である。
- △ 児童クラブが駐車場から離れていてお迎えの動線が長い。
- 児童クラブが体育館に近いので、活用できる。
- 小学校と公民館・児童クラブの間に広い屋内通路を設けると、それぞれの活動の様子が見える「富士コモン」とも呼べる共有スペースが生まれる。
- △ 公民館が北側しか採光が取れないので暗くなりそう。
- 児童クラブで行っている読み聞かせと図書室は機能的にスペースを共有できる。

④ 施設ゾーニングの検討

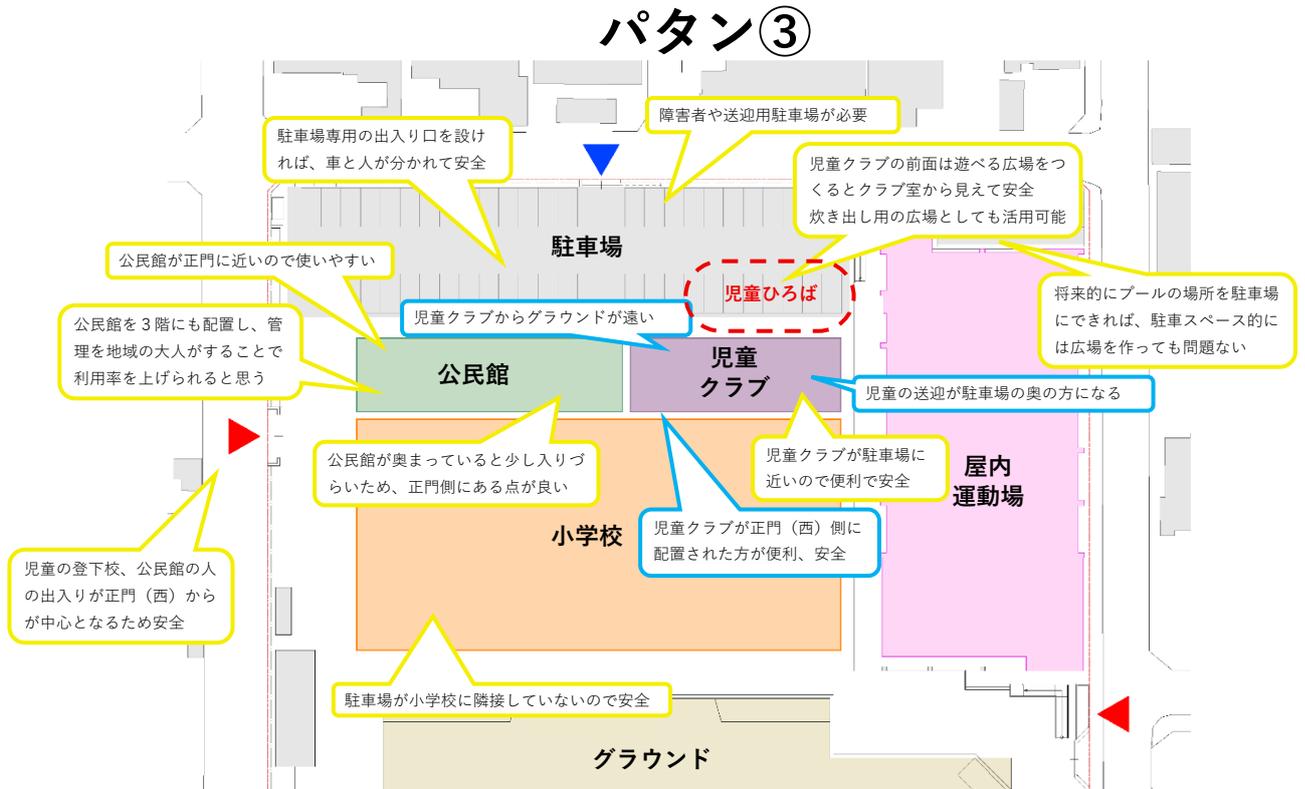


パターン②に対する意見・アイデア

○：肯定的な意見、△：否定的な意見

- 公民館はバリアフリーの観点から1階がよい。
- △ 車の乗り入れを西門として、児童の登下校に利用する門は、南・東門にしてはどうか。
→屋内運動場に隣接する西向き校舎としてはどうか。
- 北側の住宅地への日照の確保ができてよい。
- 公民館には会議室が必要、その他の活動は学校施設を共有できるとよい。
- 公民館の利用者は年齢層が高齢のためアプローチが短い西側がよい。
- △ 西側道路は交通量が多いため、乗り入れ付近の事故が心配
- 公民館利用者の7~8割程度は車で来る。
- 学校(児童)が主役の校舎になるとよい
- △ 公民館の大きなイベント時は体育館も利用を想定するが距離が遠く、動線が長い。

④ 施設ゾーニングの検討



パターン③に対する意見・アイデア

○：肯定的な意見、△：否定的な意見

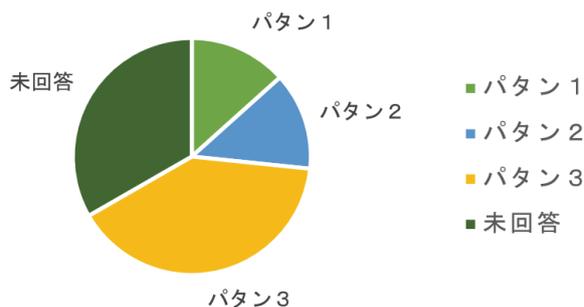
- 公民館が正門に近いので使いやすい。
- 駐車場が小学校に隣接していないので安全
- 3階建てで公民館部分を広くし管理を地域の大人がすることで利用率を上げられると思う。
- 障害者や送迎用駐車場が必要
- 児童クラブの前面は遊べる広場をつくとクラブ室から見えて安全。炊き出し用の広場としても活用可能
- プールの場所を10年後(プール授業を他施設で行う方針となった場合)駐車場にできるのであれば駐車スペース的には広場を作っても問題ない。
- 児童クラブが駐車場に近いので便利で安全
- 駐車場専用の出入り口を設ければ、車と人が分かれて安全
- 児童の登下校、公民館の人の出入りが正門(西)からが中心となるため安全
- 公民館が奥まわっていると少し入りづらいため、正門側にある点が良い。セキュリティの観点からもメリットがある。
- △ 公民館、児童クラブが正門(西)側に配置された方が便利、安全
- △ 児童クラブからグラウンドが遠い。
- △ 児童の送迎が駐車場の奥の方になる。

第2回 富士小学校ワークショップ アンケート内の意見・アイデア

- ・長良小の教室(廊下と開閉、教員スペース)の構成が良いと感じた。
- ・テラスで自由に絵が描ける場所を作ってほしい。水浴び、シャワー、体を使う絵画や紙粘土等のできる場所(屋上でも良い、水道を各所に配置して欲しい)、屋上の場合、転んでも安全な工夫をして欲しい。
- ・教室や会議室など広いスペースで壁をスクリーンにできる工夫をして欲しい。
- ・3階建てにできるのであれば、3階部分にテラスのような場所と室内で休める場所を作り、BBQやイベントができるようにしたい。
- ・3階は半分テラス、半分は居室として、普段は公民館が管理しながら利用し、小学校が利用するときには優先するなどして運用する。
- ・校内、校庭、公民館、児童館もネットワークが使えるようにしたい。
- ・1階駐車場の入り口近くに公民館の事務室があると訪問者の出入が見える。
- ・1階に公民館スペースがあれば、エレベーターは不要かと思う。
- ・近隣には介護施設もあり、学びを共有できるスペースもあるが、大人と子どもが交流する場合の発達と認知(認識)によって行動は変わるので、建物・デザインは目的を中心に、周囲の日常生活の流れになじむように建てかえて欲しい。誰もが安心できる拠点に変えて欲しい。
- ・社会性を創る場所として、学校は学校らしくあって欲しい。
- ・駐車場は人の動線と重ならないようにすることで安全を確保する。
- ・公民館を門側に配置することで、人の目が増えてセキュリティも良くなる。
- ・駐車場は北側には最低限にして他に確保する。
- ・駐車場を北側にまとめると、北側の道路、住民に配慮できる。
- ・1階に共有スペース(調理室、作業室、多目的ホール)を配置し、その管理は公民館で行い、使用については学校優先がよいと思う。
- ・パターン3のゾーニングは公民館が外から見えやすく、利用しやすいかつ、児童クラブの迎えがスムーズだと思う。
- ・北門、西門、南門の位置を再確認したほうがよい。

施設ゾーニングではどのパターンが良いと思われましたか？

パターン1	2
パターン2	2
パターン3	6
未回答	5



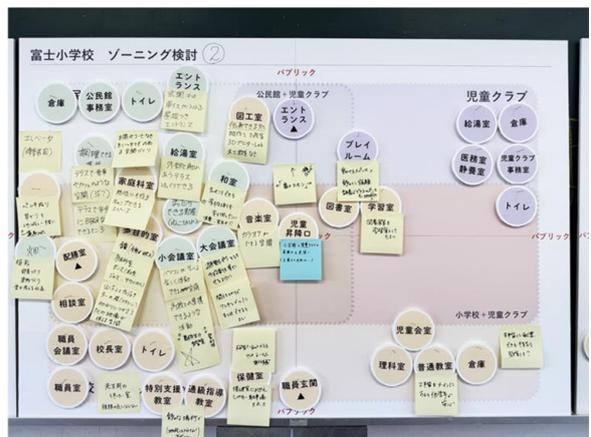
第3回 富士小ワークショップ

前回のワークショップで支持の多かった「パタン3」の施設ゾーニングをもとに、具体的な部屋や設備がどのように複合施設の共用ゾーンへ配置されるのか、グループに分かれてゾーニング検討図を作成しました。グループごとの議論では、ゾーニング検討のほか、各室の動線計画や利用イメージなど、具体的な意見交換も行いました。

参加者：17名

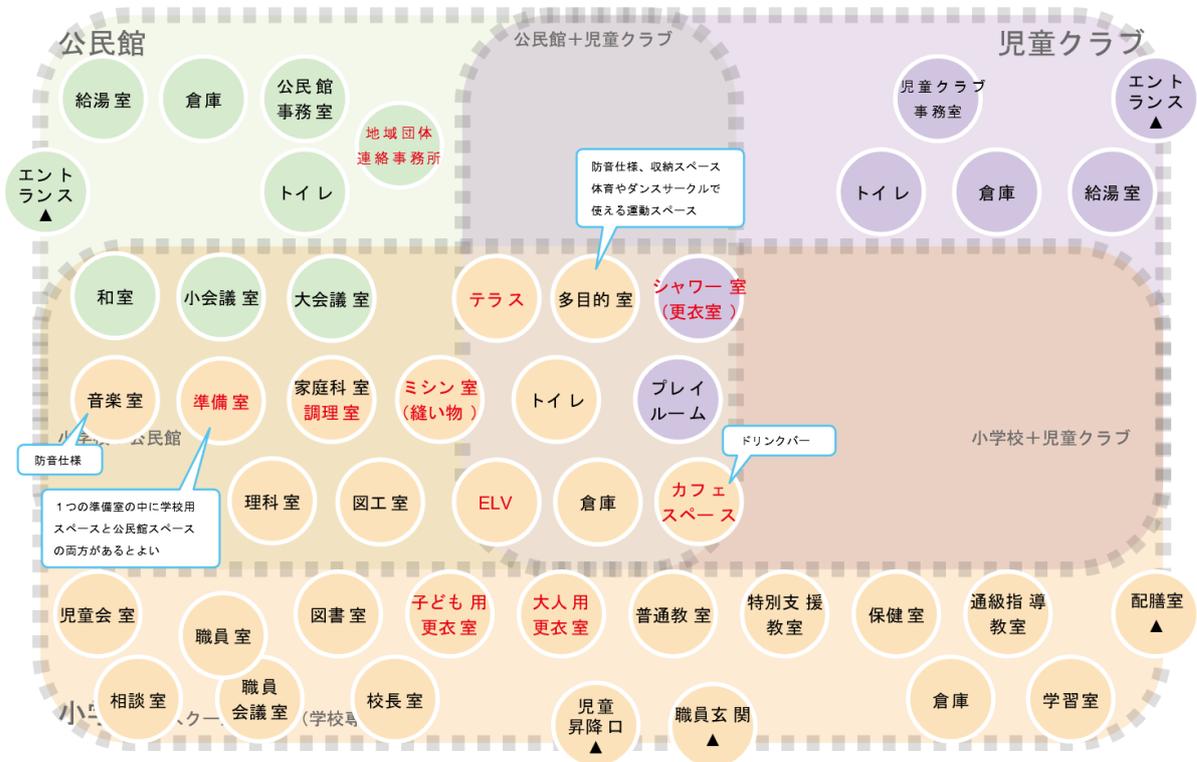
プログラム：

- ① 第3回ワークショップの主な流れ
- ② 前回ワークショップのまとめ報告と類似事例紹介(鎌田中学校)
- ③ ゾーニングの検討
- ④ 総括



③ ゾーニングの検討

富士小学校 ゾーニング検討 グループ1

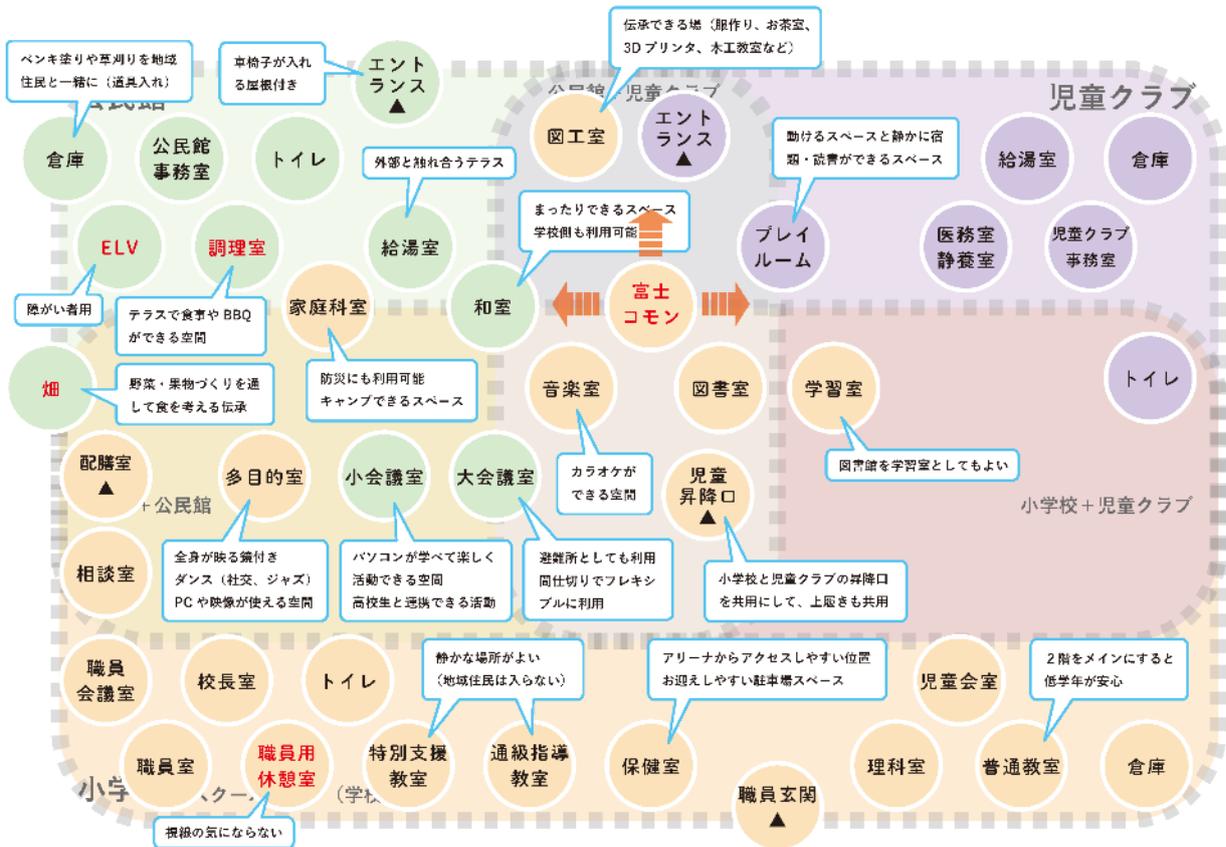


グループ1 ゾーニング検討図の特徴

- ・ 図書室は小学校専用とする。
- ・ 災害時のために、シャワー室及び更衣室を設置する。更衣室は、公民館を利用するダンスサークルの着替えの際にも利用できる。
- ・ 会議室は基本共用とした。教職員だけで会議を行う場合もあると思うので、職員室の一角に打合せスペースを設ける。
- ・ 音楽室は、サークルでも使えるように防音仕様とする。
- ・ 特別教室のための準備室は各1室とし、その中で学校スペース、公民館スペースを分ける。

③ ゾーニングの検討

富士小学校 ゾーニング検討 グループ2

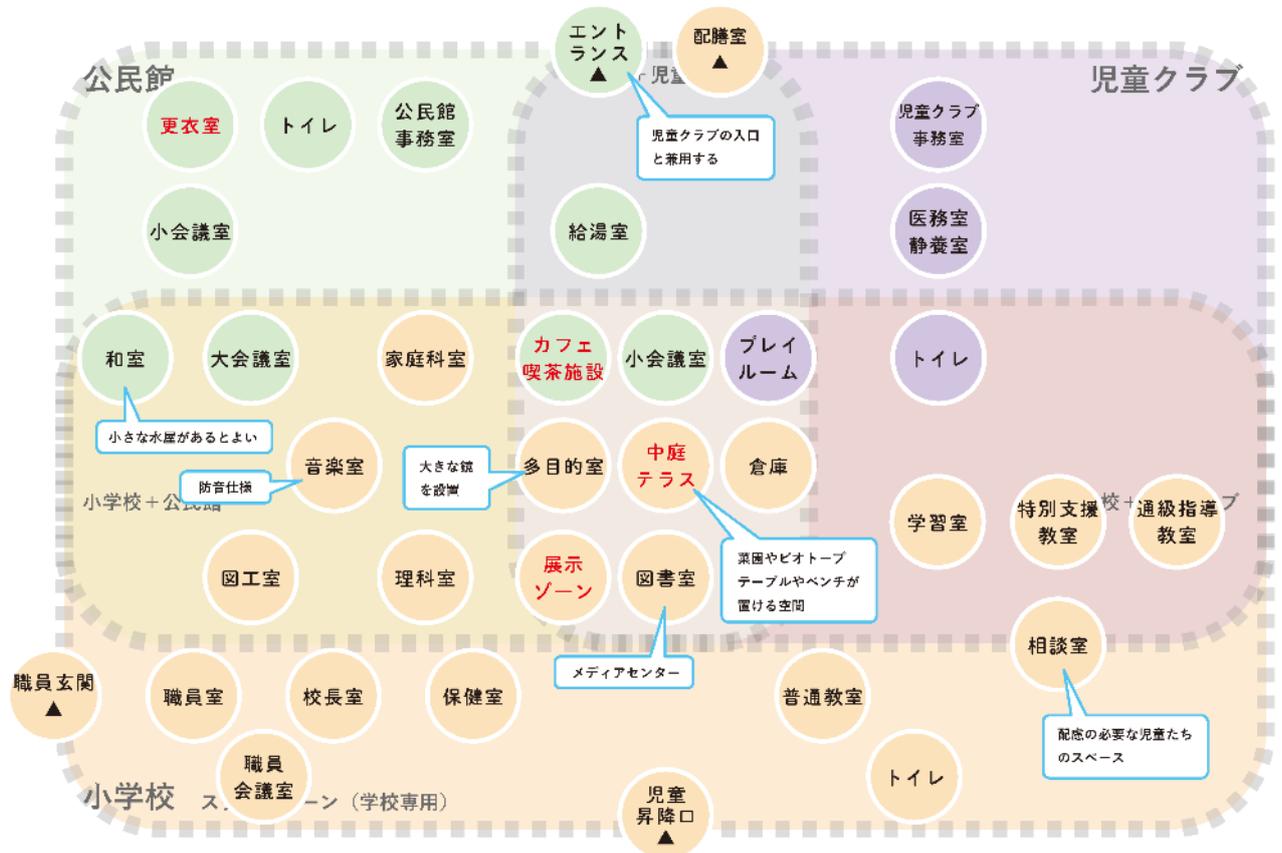


グループ2 ゾーニング検討図の特徴

- ・様々な活動の様子が見える「富士コモン」を中心に考えた。
- ・小学校昇降口と児童クラブの入口を兼ねることで、上履きを1足にできる。
- ・特別支援教室や通級指導室は、周囲の視線や音などに敏感な児童が多いので、共有スペースからは離して静かな環境に配置する。
- ・視線の気にならない先生用の休憩室を設ける。
- ・教職員に専門知識のない作業(畑仕事や草刈りなど)は、地域の方が先生となって、指導してもらえると良い交流の場となる。
- ・自習室は中高生も利用できるように開放すれば、小学生の勉強を見てあげたり、交流のきっかけが生まれる。

③ ゾーニングの検討

富士小学校 ゾーニング検討 グループ3



グループ3 ゾーニング検討図の特徴

- ・ 公民館専用の更衣室と小会議室を設ける。
- ・ 公民館と児童クラブの玄関は、北側駐車場から1箇所兼用とする。
- ・ 音楽室は防音仕様が要望としてあるが、絶対に必要というわけではない。
- ・ 共有スペースとして中庭やテラスを設置して、菜園やビオトープを設けて、そこにテーブルやベンチがあればリラックスできる空間が生まれる。

第3回 富士小学校ワークショップ アンケート内の意見・アイデア

- ・放課後の児童クラブの職員や土日の施設利用を考えると、小学校との境界は時間でシャッターが閉まる(先生が閉める?)システムが良い。
- ・富士地域は他の地域に比べて地域内での交流がさかんなので、この建て替えを通して、より学校と地域が近くなればと思う。
- ・公民館と小学校の物理的な区別(線引き)は不要だと思う。自由度が高く、開放的な空間が良い。セキュリティなどの懸念事項は運用方法(ルール)でカバーできる。
- ・学校と地域の交流において人の力というものが一番重要になる。そのために交流しやすい共有スペースであった方が良い。
- ・避難所としての機能を考えての共有スペース(更衣室・シャワー室)がほしい。
- ・セキュリティについては高浜小方式が良い。地域の方が特別教室を使うのに、とても良い形となっている。
- ・児童と大人(一般)の出入口は分けた方が良い。一般は、駐車場側を出入口とした方が良い。児童はあくまで小学校専用門からが良い。
- ・セキュリティ面では、学校、公民館、児童クラブでしっかり分けて管理するか、または市(警備等)など中間に入るスタッフがいると良い。
- ・図書室をメディアセンターにするのなら、カフェスペースが近くにあってもよいと思う。
- ・特別支援級の子たちは、放課後等デイサービスのお迎えがあるので、北側駐車場のエントランスとの関係性も考えて欲しい。
- ・セキュリティの考え方として、小学校、児童の安心安全、集中できる環境の確保が第一だと思う。それが先生方の不安や負担を増やさないことにもつながると考えている。
- ・鎌田中プランより高浜小プランの方が良い。
- ・公民館に車寄せを設けて、雨天時も雨に濡れずに屋内に入れるように計画してほしい。
- ・公民館には今ある活動のほかに、料理教室やキャンプ教室など、新しいグループ活動ができると良い。
- ・公民館には、カフェスペースや和室など、ソファやこたつを置いたりして、ゆったりとくつろげる部屋があると良い。
- ・公民館には、PC などDX 推進ができる空間(WiFi、プロジェクタ、コンセント設備)が整備されていると良い。
- ・地域連携室(長良公民館のように外部から入れる部屋)があると良い。

第4回 富士小ワークショップ

これまでのワークショップでの意見をもとに作った2階建案、3階建案の2種類のブロックプランを用いて、実際の使い方をイメージして、部屋の位置関係や入り口等繋がりを検討しました。また、安心安全な複合施設となるためのセキュリティの考え方や目指すべきバリアフリーの姿や、防災拠点として必要な性能などについて協議しました。

参加者：15名

プログラム：

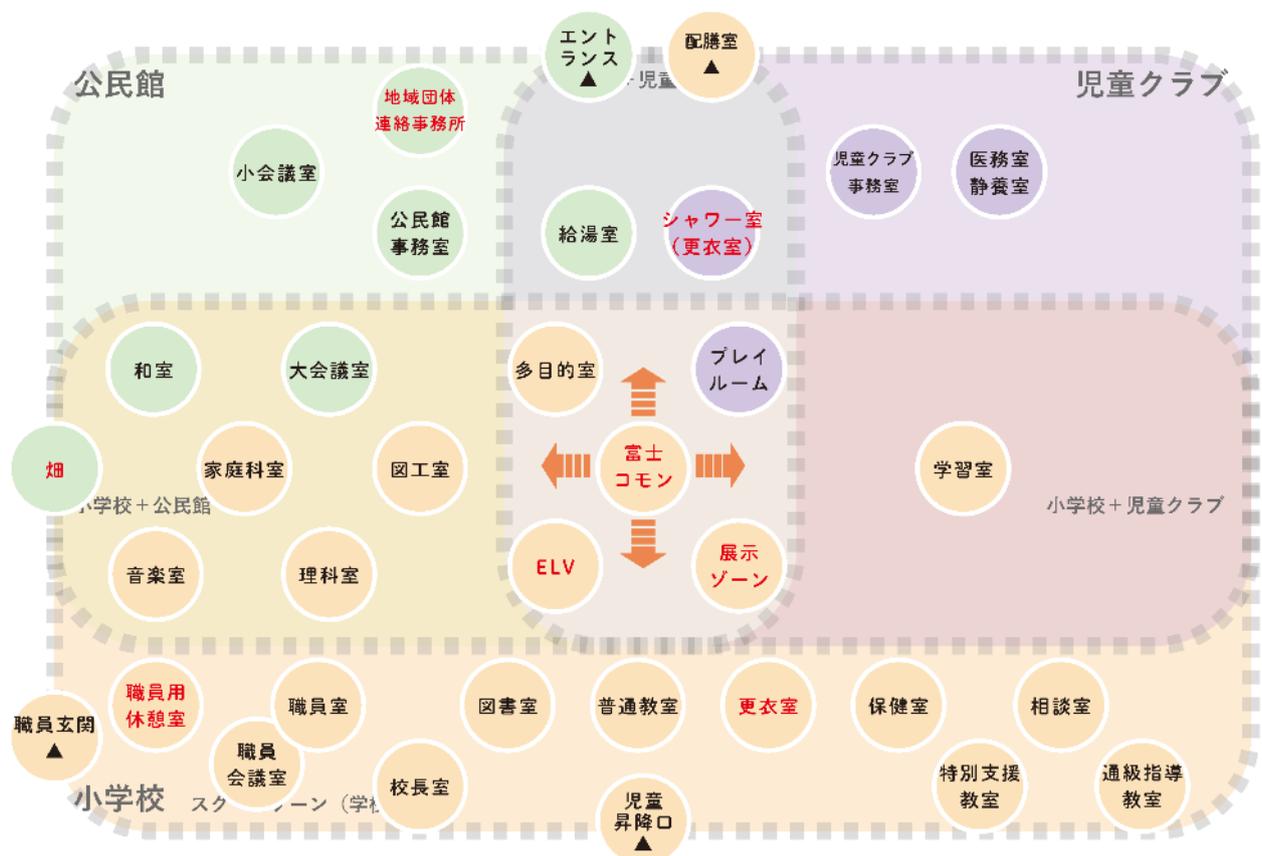
- ① 第4回ワークショップの主な流れ
- ② 前回ワークショップのまとめ報告
- ③ ブロックプランとセキュリティラインの検討
- ④ 総括



② 前回ワークショップのまとめ報告

第3回ワークショップで3つのグループに分かれて検討・作成をしたゾーニング検討図について、それぞれの特徴をバランスよく反映させた総括ゾーニング検討図を作成し、その内容について説明をしました。

富士小学校 ゾーニング検討 総括



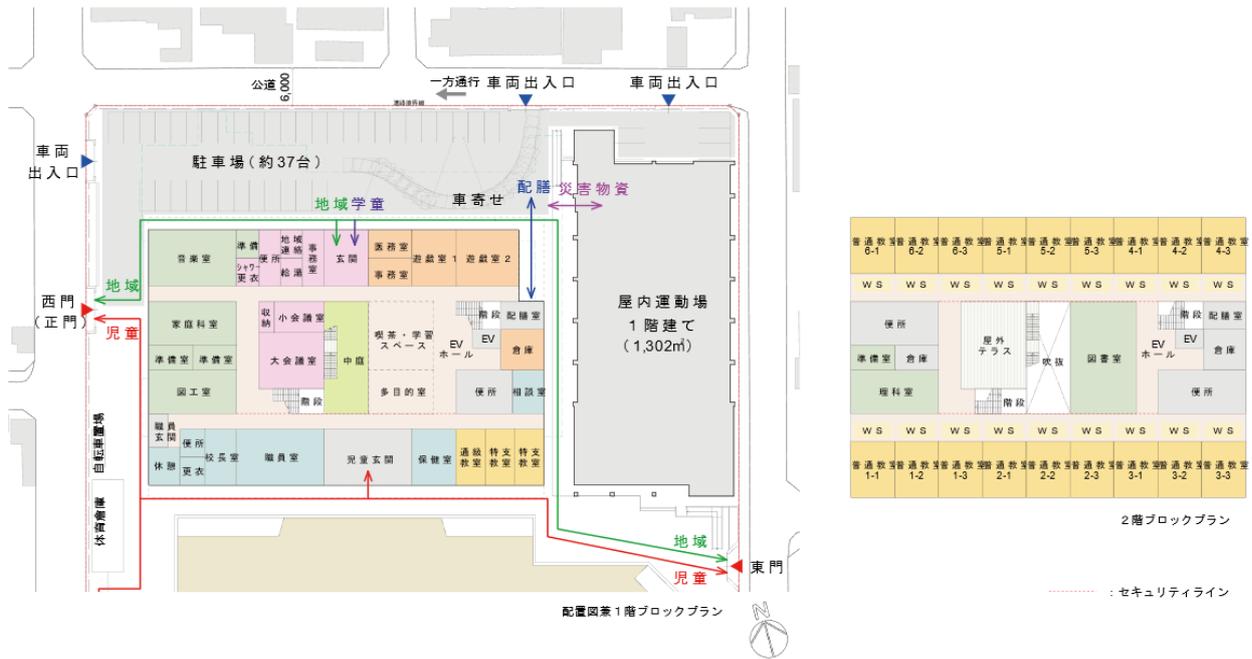
総括ゾーニング検討図の特徴

- ・ 施設を中心に「富士コモン」という共用スペースを配置し、その周囲にエレベーター、多目的室、展示ゾーンなどの共用性の高い部屋や設備を配置する。
- ・ 近隣に広域の図書館があるため、一般利用者はそちらを利用して、図書室は児童図書を中心にそろえた小学校専用の図書室とする。
- ・ 図書室をのぞく特別教室は小学校と公民館の共用エリアに配置する。
- ・ 会議室は基本共用で利用するものとし、職員室の一角に打合せコーナーを設けることで、職員会議室という専用の部屋はなしとする。
- ・ 職員室の近くに、視線の気にならない職員用の休憩室を設置する。
- ・ 公民館の近くに災害時にも利用できる更衣室・シャワー室を設置する。

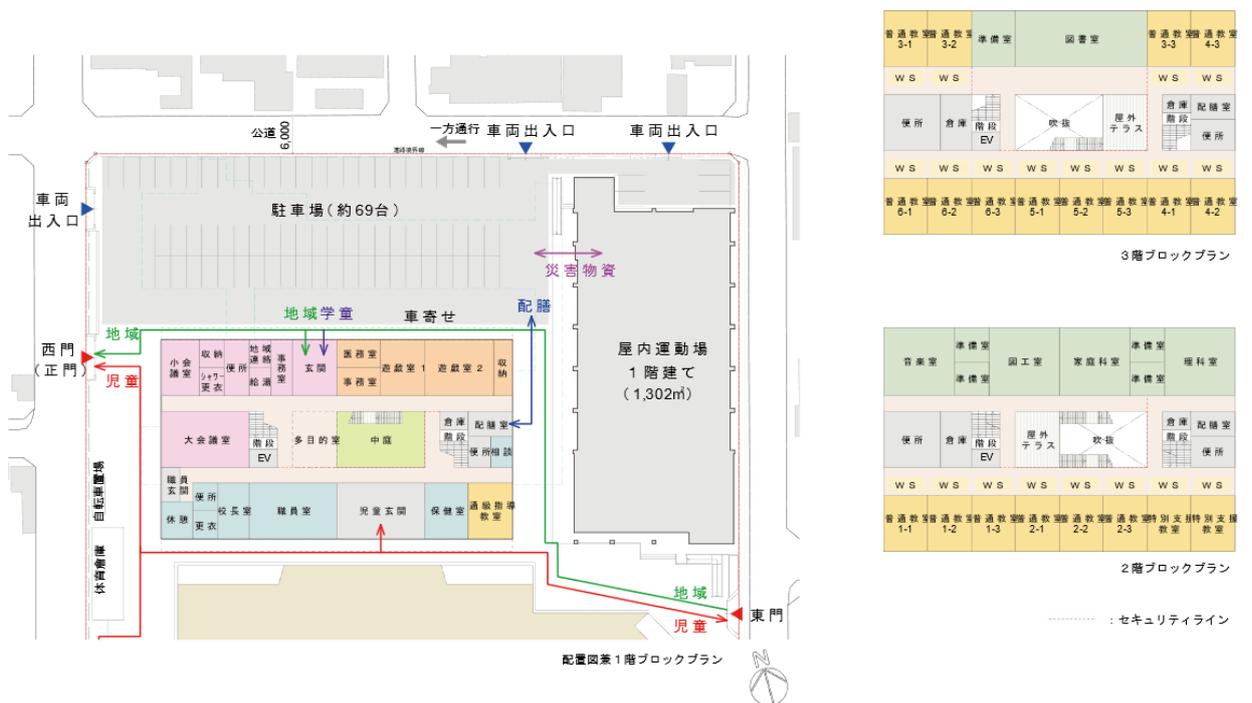
③ ブロックプランとセキュリティラインの検討

総括ゾーニング検討図を下地として、下図の2階建案、3階建案の2種類のブロックプランを作成しました。3つのグループに分かれて、このブロックプランをもとに部屋の位置関係や出入口、セキュリティラインなどについて協議・検討をしました。

ブロックプランの検討（2階建て）

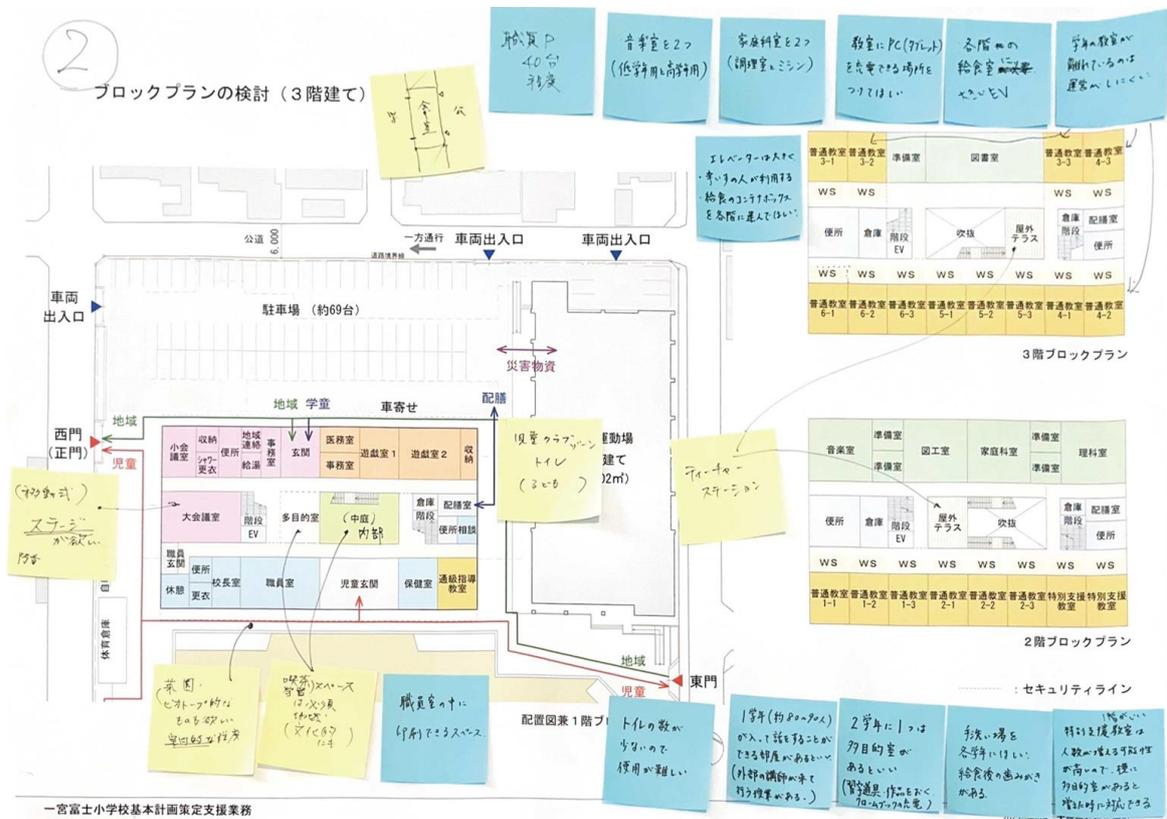


ブロックプランの検討（3階建て）



③ ブロックプランとセキュリティラインの検討

富士小学校 ブロックプラン検討 グループ2



ブロックプランに対する意見・アイデア

- ・学年の教室が離れているのは運営がしづらいので、見直してほしい。
- ・配膳室には、人も同乗できるくらい大きめのエレベーターを設置してほしい。
- ・家庭科室は調理室・被服室の2室、音楽室は高学年用・低学年用の2室あるとよい。
- ・肢体不自由の児童が通う可能性があるため、特別支援教室は1階にあるほうがよい。
- ・児童数の変動に対応できるように、教室数を余分に多目的室として設置しておくとうい。
- ・給食の後に歯磨きの時間があるので、手洗いの数を充実させてほしい。
- ・セキュリティについては、特に線引きをせずに、各室の鍵で対応するという考え方もあると思う。
- ・大会議室には移動式のステージがあるとよい。

③ ブロックプランとセキュリティラインの検討

富士小学校 ブロックプラン検討 グループ3



ブロックプランに対する意見・アイデア

- ・土日や放課後などの学校活動がない時のセキュリティは、物理的に入れないようにシャッターで区画したほうがよい。
- ・大会議室は、軽運動ができるくらいの広さがほしい。
- ・公民館の部屋が少し不足しているように感じるが、日中の利用がない児童クラブの遊戯室も公民館に貸し出しして利用できるようにするとよい。
- ・遊戯室の1室は学習スペースとして、日中空いている時には中高生も開放利用できるようにするとよい。
- ・図工室を作業室としてミシンなどもできるようにして、家庭科室は調理室として、調理専用に変化させてほしい。
- ・教室の間仕切り壁は、学習形態に応じてフレキシブルに変化できるようにしてほしい。
- ・特別教室などは基本的に学校所有になると思うが、管理については学校と公民館で分担したほうが施設を有効活用できると思う。

第4回 富士小学校ワークショップ アンケート内の意見・アイデア

- ・全ての世代の人が暮らしやすく、新しい活動も取り入れやすく、自然、暑さ寒さ、危険等を予防的に活動しながら、社会の中で生涯学習した成果が、地域や社会に反映されると良い。
- ・災害時の避難所機能として、発電(太陽光パネル等)やプライバシーを確保できるスペース(更衣室、シャワールーム含む)、和室等が欲しい。
- ・公民館のスペースを減らす分、児童クラブなどで共有できるような設備を整えて欲しい。
- ・子どもが通いたくなる、地域の方々が集まりやすくなる学校になると良い。
- ・地域の方が運動場の片隅に木々や、花を愛でたり、軽く運動できるスペースを設けることができるとう良い。

【グループワーク後の全体協議での意見】

- ・児童クラブ内の医務室は、専属のスタッフが常駐しないのであれば、必要ないと思う。
- ・小さめの音楽室であれば、2部屋あってもよいと思う。児童クラブの遊戯室を日中だけ音楽室として使用させてもらうのもよいかもしれない。
- ・1階の中庭に屋根をつけるべきかという議論のなかで、上部にトップライトをつけて光を取り入れることができれば、開放的で明るい空間となり、屋内として活用できる。
- ・授業での使用頻度の低い図工、調理、被服については、授業が重なるケースは低いと考え、2部屋でまかなうという計画でもよいかと思う。
- ・今後まとめていく基本計画では、参加者の支持が多かった3階建て案をもとにして進める。

4. ワークショップ参加者リスト

ご参加いただきました皆様(肩書)

富士連区町会長代表者
富士連区地域づくり協議会 会長
富士連区地域づくり協議会 副会長(3名)
富士公民館 館長(学校運営協議会委員)
富士公民館 副館長
富士小学校PTA会長(学校運営協議会委員)
富士小学校保護者会 役員(4名)
富士連区民生児童委員協議会 会長
富士連区児童育成協議会 会長(学校運営協議会委員)
地域からの参加者(3名)
富士小学校 校長
富士小学校 教務主任
富士小学校 校務主任

富士小学校ワークショップにご参加いただきました皆さま、ご多忙の中、全4回にわたりご参加いただきましたこと、誠にありがとうございました。

この度、皆さまから頂きました貴重なご意見を基に、基本計画を取りまとめることが出来ました。今後は基本設計、実施設計と進んでまいります。引き続き、富士小学校のプロジェクトを温かく見守っていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

一宮市教育委員会

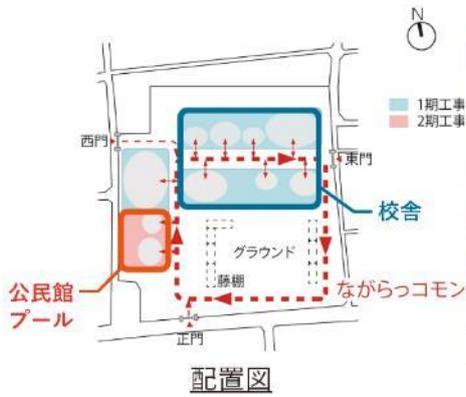
5. 類似施設の調査

施設整備方針を示すにあたって、小学校、公民館、児童クラブを複合化する本計画と類似する先行事例をいくつか調査し、共用設備の選定と、管理方法やセキュリティ方式について以下比較表にまとめました。

〈 類似施設の比較表 〉

学校名	岐阜市立長良小学校	高浜市立高浜小学校	松阪市立鎌田中学校
竣工年	2022 年	2021 年	2020 年
床面積	9,544 m ²	6,741 m ²	7,609 m ²
構造 / 階数	鉄筋コンクリート造 地上 2 階建て	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上 3 階建て	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上 3 階建て
公民館の位置	校舎と別棟	校舎と同一棟	校舎と同一棟
児童クラブの位置	校舎と同一棟	校舎と同一棟	-
共用エリアの管理方法	別棟なので共用エリアは屋外のみとなり、特別な管理等は発生しない。	事前に利用申請が必要。放課後及び休校日は、パイプシャッターで学校専用エリアを区画	基本的に共用エリアと専用に物理的な区画は設けていないが、市職員を 1 名常駐させるような人的措置にて対応
施設の特徴	屋外の共用(開放)空間である「ながらっコモン」により、地域交流の場を創出	PFI(BTO方式)を採用。学校施設である体育館、特別教室等の一般利用が有料で可能	コミュニティ・スクールを導入。学校と地域を繋ぐ共用エリアとして「鎌中ストリート」を設けている。

■ 岐阜市立長良小学校



■ 高浜市立高浜小学校

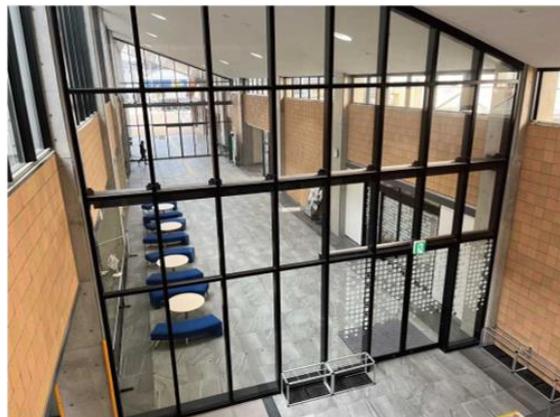


施設案内図

出所) たかびあパンフレット
<https://www.city.takahama.lg.jp/uploaded/attachment/16627.pdf>



西側からみた外観



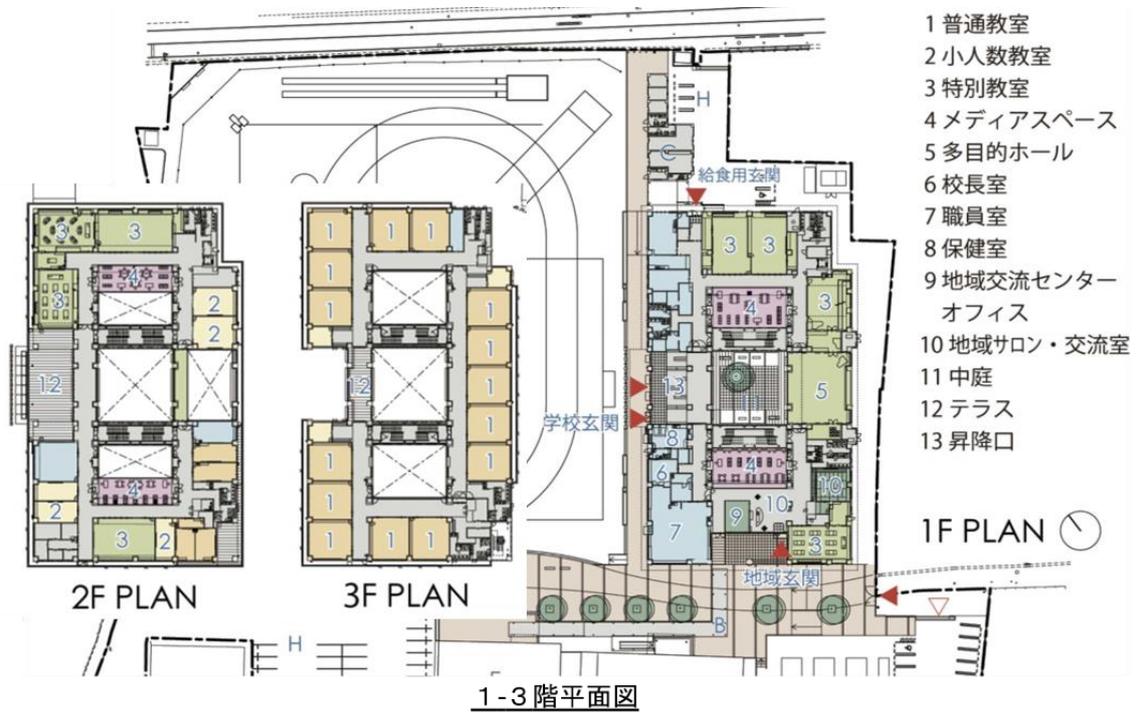
2階からエンタランスホールをみる



放課後はパイプシャッターで学校エリアを区画 積極的にサークル活動が行われるものづくり工房



■松阪市立鎌田中学校



近隣の田園風景の稲穂をイメージした外観



2層吹抜けの多目的ホール



3層吹抜けのメディアスペース



カフェ機能が附属する地域サロン

【出典】小松尚、奥井康史：中学校と公民館が融合する地域拠点，日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集，pp.168-169，2021.9

6. 類似施設視察報告書

岐阜市立長良小学校視察

1)目的 学校と地域が一体となった複合施設についてワークショップで議論を深めるにあたり、参考となる先行事例として「岐阜市立長良小学校」を、ワークショップの参加者を中心に視察しました。

視察では、設計担当者から説明を受けながら、ワークショップ参加者に実際の空間やその利用方法を体感・共有してもらい、今後のワークショップにおいて具体的な意見やアイデアを引き出すことを目的としました。

2)実施日時 2025(令和7)年3月12日(水) 15時～

3)参加者 ワークショップ 参加者

〈 視察時の写真 〉



7. 富士小学校アンケート報告書

① 富士小学校- 教職員アンケート結果

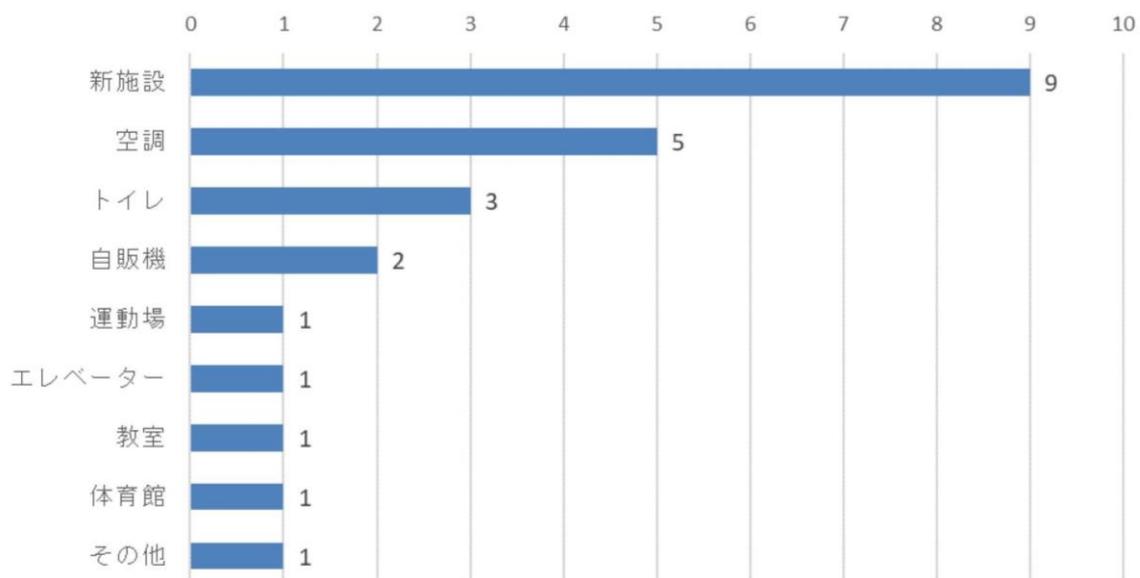
- 1)目的 新しい時代にふさわしい小中学校の在り方を幅広く検討し、校舎改築の基本計画を策定するため、アンケートを実施しました。今後は、アンケート結果を踏まえながらワークショップを開催し、基本計画を策定していきます。
- 2)実施期間 2024(令和6)年9月19日 ～ 2024(令和6)年10月10日
- 3)対象者 富士小学校に在籍している教職員(30名)
- 4)回答方法 Web アンケート(対象者に2次元コードを配布)
- 5)回答件数 9件(回答率：30%)

アンケート結果は次のとおりです。

1. 新しい学校に希望するものや場所

新しい学校に希望するものや場所を教えてください。(答えは3つまで)
また、あったらいいなと思う理由を教えてください。

回答数9件のうち9件が回答、提案件数は、24件でした。



1位：新施設 38% (9件)

主な要望：シアタールーム、シャワー室、トレーニング施設、
児童館・公民館などの併設、児童相談所・家庭相談課の設置、防音室

2位：空調 21% (5件)

主な要望：体育館を含む全館空調

3位：トイレ 13% (3件)

主な要望：綺麗なトイレ

4位：自販機 8% (2件)

主な要望：自販機（軽食やジュース）

5位：運動場 4% (1件)

主な要望：草刈りが必要のない校庭

5位：エレベーター 4% (1件)

主な要望：—

5位：教室 4% (1件)

主な要望：—

5位：体育館 4% (1件)

主な要望：—

その他：

具体的回答例：

- ・警察少年係、交番の設置（警察に関わる事案に対し、密に連携を行うため）

② 富士小学校- 児童アンケート結果

- 1)目的 新しい時代にふさわしい小中学校の在り方を幅広く検討し、校舎改築の基本計画を策定するため、アンケートを実施しました。今後はアンケート結果を踏まえながらワークショップを開催し、基本計画を策定していきます。
- 2)実施期間 2024(令和6)年9月19日 ～ 2024(令和6)年10月10日
- 3)対象者 富士小学校 4・5・6年生(248名)
- 4)回答方法 Web アンケート(対象者に2次元コードを配布)
- 5)回答件数

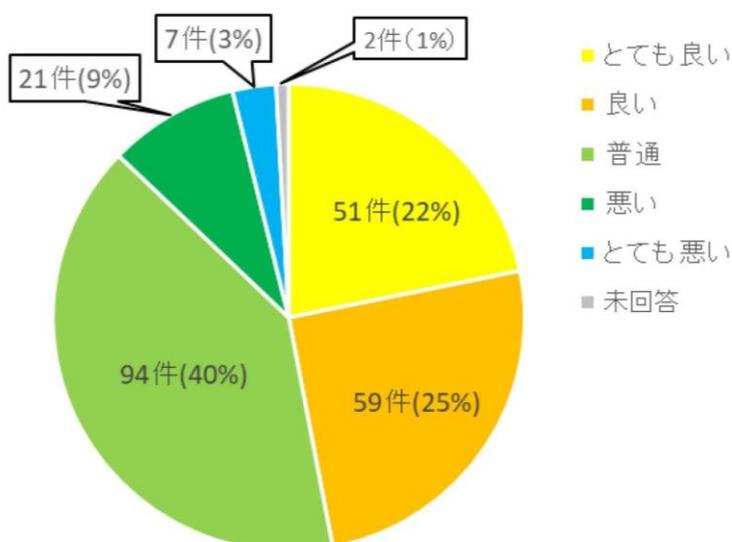
学生	児童数(人)	回答数(件)	回答率(%)
4年生	94	93	98.9%
5年生	80	77	96.3%
6年生	74	64	86.5%
合計	248	234	94.4%

アンケート結果は次のとおりです。

1. 学校施設の印象

あなたの学校の建物に、どんな印象がありますか。(1つのみ)
 ・とてもよい ・よい ・普通 ・悪い ・とても悪い

とてもよい	よい	普通	悪い	とても悪い	未回答	合計
51	59	94	21	7	2	234



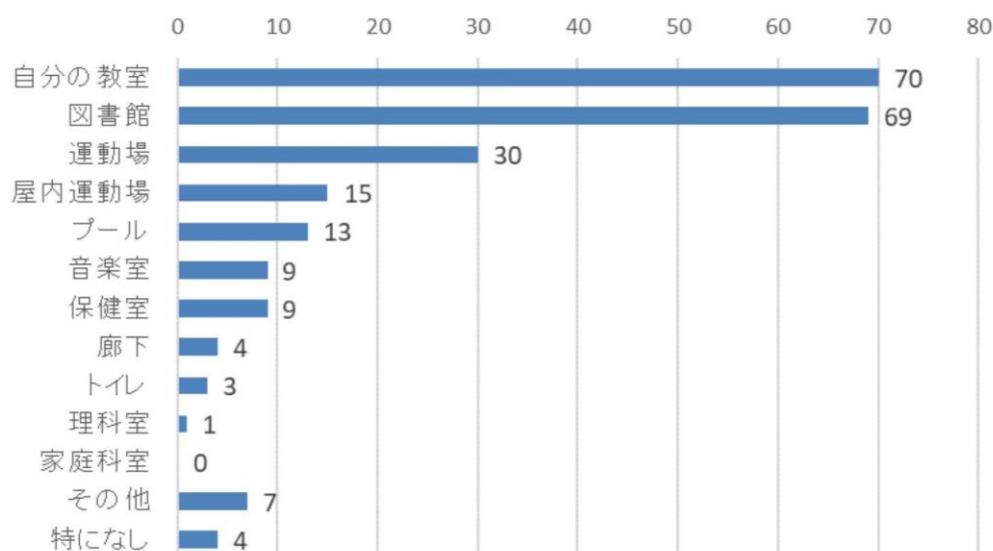
2. 学校の建物でお気に入りの場所

学校の建物でお気に入りの場所はありますか。一覧の中から、「お気に入りの部屋や場所」を教えてください。(1つのみ) また、選んだ理由も教えてください。

1 自分の教室	6 図書室	11 プール
2 運動場	7 家庭科室	12 特になし
3 屋内運動場	8 保健室	13 その他
4 音楽室	9 トイレ	
5 理科室	10 廊下	

アンケート結果では、1位は自分の教室、2位は図書館、3位は運動場、4位は屋内運動場、5位はプールとなりました。

順位と主な理由は次のとおりです。



1位：自分の教室 30% (70件)

主な理由：みんなと話せる、落ち着く、涼しい、思い出が詰まっている

2位：図書館 29% (69件)

主な理由：本が好き、静か、落ち着く、涼しい、本がたくさんある

3位：運動場 13% (30件)

主な理由：広い、遊べる、楽しい、遊具ある

4位：屋内運動場 6% (15件)

主な理由：きれい、落ち着く、運動が好き

5位：プール 6% (13件)

主な理由：泳ぐことが好きだから、楽しい、冷たくて気持ちいい

6位：音楽室 4% (9件)

主な理由：落ち着く、音楽が好き、涼しい、きれい

6位：保健室 4% (9件)

主な理由：涼しい、静か、落ち着く、先生が優しい

8位：廊下 2% (4件)

主な理由：友達と一緒に喋れる

9位：トイレ 1% (3件)

主な理由：落ち着く、教室に近い

10位：理科室 0.4% (1件)

主な理由：楽しい

その他：

具体的回答例：のびのび広場（中庭）、多目的室、職員室

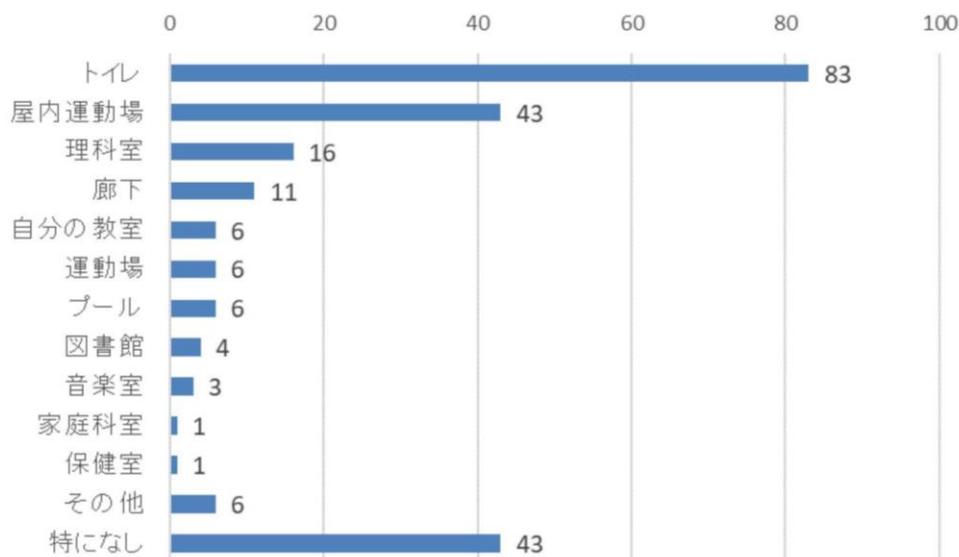
3. 学校の建物で不便な場所

学校の建物の中で不便な場所はありますか。一覧の中から、「不便な部屋や場所」を教えてください。(1つのみ) また、選んだ理由も教えてください。

1 自分の教室	6 図書室	11 プール
2 運動場	7 家庭科室	12 特になし
3 屋内運動場	8 保健室	13 その他
4 音楽室	9 トイレ	
5 理科室	10 廊下	

アンケート結果では、1位はトイレ、2位は屋内運動場、3位は理科室、4位は廊下、5位は自分の教室、運動場、プールとなりました。

順位と主な理由は次のとおりです。



1位：トイレ 36% (83件)

主な理由：汚い、臭う、和式が多い、便座が冷たい、古い

2位：屋内運動場 19% (43件)

主な理由：暑い、エアコンがない、寒い

3位：理科室 7% (16件)

主な理由：夏は暑く冬は寒い、エアコンがない

4位：廊下 5% (11件)

主な理由：暑い、寒い

5位：自分の教室 3% (6件)

主な理由：狭い、暑い、机が小さくガタガタする、鍵が南京錠

5位：運動場 3% (6件)

主な理由：暑い、夏は蛇口からの水がお湯

5位：プール 3% (6件)

主な理由：汚い、床が暑い・痛い、日影が少ない、トイレが近くはない

8位：図書館 2% (4件)

主な理由：机がガタガタする、マナーの悪い人がいる

9位：音楽室 1% (3件)

主な理由：机がガタガタ、席が高いところがある

10位：家庭科室 0.4% (1件)

主な理由：変な臭いがする、虫が出てくる

10位：保健室 0.4% (1件)

主な理由：保健室までの移動が大変

その他：

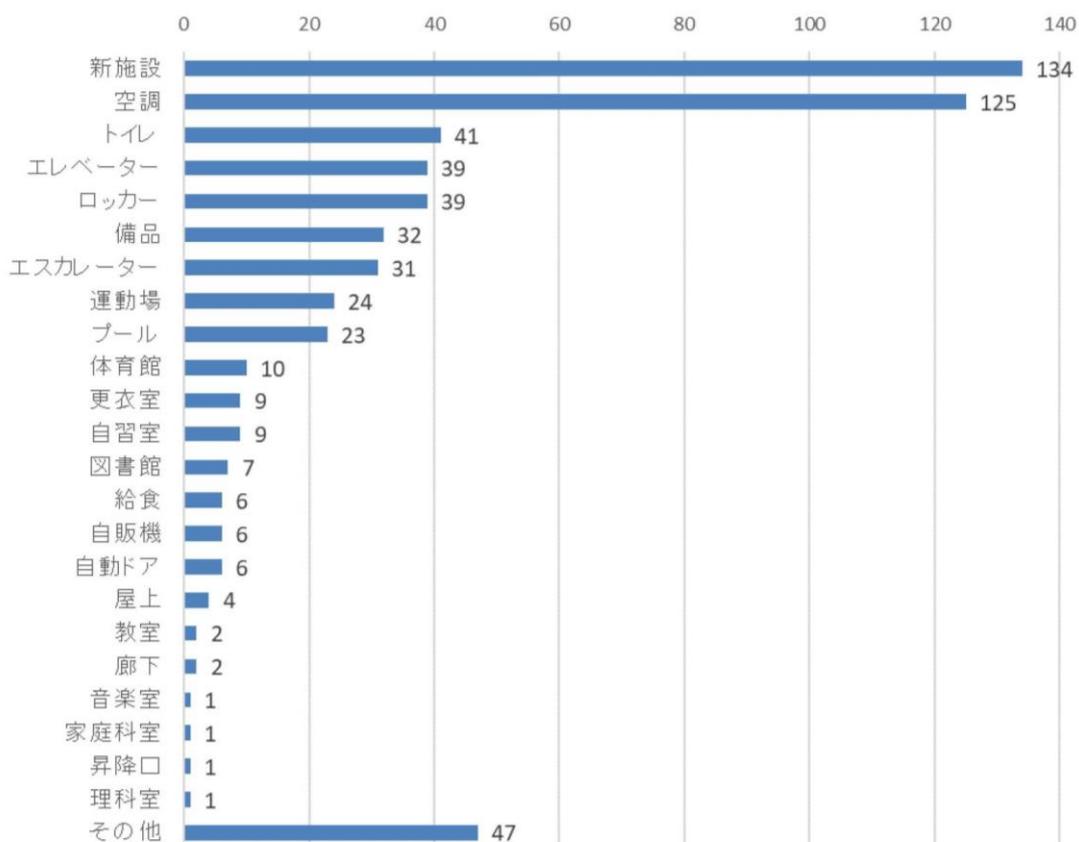
具体的回答例：

- ・図工室（エアコンがない）
- ・階段（暑い）

4. 新しい学校に希望するものや場所

新しい学校にあつたらいいなと思うものや場所を教えてください。(答えは3つまで) また、あつたらいいなと思う理由を教えてください。

回答数234件のうち231件が回答、提案件数は、600件でした。



1位：新施設 22% (134件)

主な要望：食堂、交流できる広場、休憩スペース、売店、映画館
プログラミング室、シャワー室、仮眠室、ゲーム部屋

2位：空調 21% (125件)

主な要望：体育館を含めた全館空調の設置

3位：トイレ 7% (41件)

主な要望：綺麗・洋式・ウォシュレット付き・自動洗浄トイレ

4位：エレベーター 7% (39件)

主な要望：3階までのエレベーターの設置

4位：ロッカー 7% (39件)

主な要望：個人ロッカーの設置

6位：備品 5% (32件)

主な要望：製氷機、新しい机、掃除ロボット、掃除機、大きい黒板、電子黒板、毛布、教科書・ノートの電子化、ベンチ、ベッド、ウォーターサーバー、

7位：エスカレーター 5% (31件)

主な要望：3階までのエスカレーターの設置

8位：運動場 4% (24件)

主な要望：遊具増設、芝生の運動場、ベンチの設置、テニスコート

8位：プール 4% (23件)

主な要望：ウォータースライダー付き・室内温水・50mプール

10位：体育館 2% (10件)

主な要望：放課に使える大きい体育館

11位：更衣室 2% (9件)

主な要望：空調のある男女別の更衣室

11位：自習室 2% (9件)

主な要望：放課や下校後に他クラスと勉強ができるスペース

13位：図書館 1% (7件)

主な要望：本の冊数を増やす、広い図書館、本を読む専用スペース

14位：給食 1% (6件)

主な要望：バイキング形式、給食室の設置、給食の自動配膳

14位：自販機 1% (6件)

主な要望：飲み物がなくなった際に買える自販機の設置

14位：自動ドア 1% (6件)

主な要望：教室の扉等を自動ドアに変更

17位：屋上 1% (4件)

主な要望：屋上からの景色を見たい、屋上で過ごしたい

18位：教室 0.3% (2件)

主な要望：広い教室、教室の扉を開き戸へ変更

18位：廊下 0.3% (2件)

主な要望：逆走ができない廊下

20位：音楽室 0.2% (1件)

主な要望：—

20位：家庭科室 0.2% (1件)

主な要望：—

20位：昇降口 0.2% (1件)

主な要望：外履きと内履きの置く位置が分かれた下駄箱

20位：理科室 0.2% (1件)

主な要望：—

その他：

具体的回答例：

- ・ 網戸の設置
- ・ 災害用の備品
- ・ 自転車通学
- ・ 給湯器付きの水道
- ・ 動物や生き物
- ・ 南京錠以外の扉
- ・ オートウォーク
- ・ 廊下を歩くと問題が出る校舎
- ・ 水道からジュース
- ・ ドリンクバー
- ・ ロボット

シン学校プロジェクト一宮市富士小学校基本計画

2026(令和8)年2月

発行 一宮市

編集 教育部 総務課

〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号

電話：0586-85-7013(ダイヤルイン)

メール：k-somu@city.ichinomiya.lg.jp